

令和3年度
北九州市社会福祉ボランティア大学校
事業報告書

目次

1	事業の総括	1
2	研修実施状況一覧	2
3	研修実施内容	
	(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成	
	○ まちづくりセミナー	6～7
	○ 新たな社会問題に対応する講座(「子育て支援ボランティア」養成講座)···	8～9
	○ ふくしのまちづくり講座	10～37
	○ 市民講演会	38～39
	(2) テーマ型ボランティア・市民活動者の育成	
	① 入門者	
	○ 福祉有償運送運転協力者研修	40～51
	○ 障害への理解を深め、はじめようボランティア入門講座····· (視覚に障害のある人へのボランティア入門講座)	52～53
	○ 腕自慢ボランティア養成講座·····	54～57
	○ 災害ボランティア養成講座	58～61
	② 活動者	
	○ 傾聴ボランティア・フォローアップ研修	62～63
	③ リーダー	
	○ ボランティアリーダー研修	64～65
	(3) 小地域福祉活動者(地縁型ボランティア)の育成	
	① 現任者	
	○ 現任福祉協力員研修	66～79
	○ 地域福祉活動専門研修	80～81
	② 役員	
	○ 地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」	82～83
	○ 校(地)区社協新任役員研修	84～85
	○ まちづくりゼミナール	86～87
	(4) 企業・社会福祉法人におけるボランティア・市民活動者の育成	
	○ 企業の社会貢献活動セミナー(オンライン開催)	88～89
	○ 社会福祉法人の社会貢献活動セミナー(オンライン開催)	90～91
	(5) ボランティア・市民活動支援者の育成	
	○ ボランティアコーディネーター研修	92～95

1 事業の総括

北九州市社会福祉ボランティア大学校では、本会の基本理念である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現に向け、高齢者、生活困窮者等様々な課題を抱えた人たちを支援するために、福祉の視点で地域コミュニティづくりに取り組む人材の養成・育成を目指した研修を実施し、今年度は延べ 1,781 人が研修を受講しました。

今年度も重点的に取り組んだ「ふくしのまちづくり講座」では、地域の人材発掘や地域の課題発見、解決を目指し、各校(地)区社協、市・区社協協働で講座を企画し、地域住民による小地域福祉活動の充実をはかりました。あわせて、講座をきっかけとして、新たな活動の担い手を養成しました。

今年度新たな取組として実施した「子育て支援ボランティア養成講座」では、子ども自らが成長しようとする力に着目し研修を行いました。「子育て」を支援するボランティアを講師として招き活動を紹介したところ、受講後、9名の受講者が子ども食堂などでボランティア活動を始めることとなりました。また、「視覚障害のある人へのボランティア入門講座」では障害のある方に寄り添い、支援について学ぶ講座を実施し、受講後、5名をボランティア窓口へつなぐことができました。いずれも、今までとは少し違った切り口で取り組んだことが受講者にとって目新しさとなり、成果につながりました。

昨年度から新型コロナウイルス感染症対策として実施している ICT の活用は、今年度 4 つの研修で実施しました。「校(地)区社協新任役員研修」と「地域福祉活動指導者研修『トップセミナー』」では動画配信を行い、「企業の社会貢献活動セミナー」と「社会福祉法人の社会貢献活動セミナー」ではオンライン研修とするなど、研修効果を落とさずにそれぞれの研修内容や受講者に合わせた形式で研修を行いました。

今後も、地域共生社会の実現に向けた取り組みを推進していくため、活動に取り組みやすい環境づくりや研修を通じた課題の整理などを、新しい生活様式に合わせ、ICT を活用しながら、事業を推進してまいります。

2 研修実施状況一覧

(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

- まちづくりセミナー 詳細 No.1
- 新たな社会問題に対応する講座 (「子育て支援ボランティア養成講座」) 詳細 No.2
- ふくしのまちづくり講座 詳細 No.3
- 市民講演会 詳細 No.4

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
まちづくりセミナー	市民	1	3	3	53	7～8
新たな社会問題に対応する講座 (「子育て支援ボランティア養成講座」)	市民	1	2	2	64	11
ふくしのまちづくり講座	校区住民	14	2～3	27	732	7～3
市民講演会	市民	1	1	1	67	10
計		17	—	33	916	—

※ふくしのまちづくり講座については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2校(地)区2回分を次年度に延期

(2) テーマ型ボランティア・市民活動者の育成

- ① 入門者
 - 福祉有償運送運転協力者研修 詳細 No.5
 - 障害への理解を深め、はじめようボランティア入門講座
(視覚に障害のある人へのボランティア入門講座) 詳細 No.6
 - 腕自慢ボランティア養成講座 詳細 No.7
 - 災害ボランティア養成講座 詳細 No.8
- ② 活動者
 - 傾聴ボランティア・フォローアップ研修 詳細 No.9
- ③ リーダー
 - ボランティアリーダー研修 詳細 No.10

	研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
入門者	福祉有償運送 運転協力者研修	福祉有償運送実施 団体に運転を希望 する者	3	2	6	90 (うちセダ ン型23 人)	7・10・2
	障害への理解を深め、はじめようボ ランティア入門講座(視覚に障害の ある人へのボランティア入門講座)	市民	1	1	1	19	10
	腕自慢ボランティア養成講座	市民	2	1	2	30	7・2
	災害ボランティア養成講座	市民	2	1	2	46	10・11
活動者	傾聴ボランティア・ フォローアップ研修	傾聴ボランティア	1	1	1	8	4
リーダー	ボランティア リーダー研修	リーダー 次期リーダー	1	1	1	24	10
	計		10	—	13	217	—

(3) 小地域福祉活動者(地縁型ボランティア)の育成

① 現任者

- 現任福祉協力員研修 詳細 No.11
- 地域福祉活動専門研修 詳細 No.12

② 役員

- 地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」 詳細 No.13
- 校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修 詳細 No.14
- まちづくりゼミナール 詳細 No.15

	研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
現任者	現任福祉協力員研修	現任福祉協力員等	7	1	7	207	11~2
	地域福祉活動専門研修	校(地)区社協の実務者	1	1	1	118	11
役員	地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」	校(地)区社協役員	1	1	1	108	3
	校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修	校(地)区社協新任役員	1	1	1	79	8
	まちづくりゼミナール	校(地)区社協・まちづくり協議会役員、民生委員等	1	3	3	86	10~12
計			11	—	13	598	—

(4) 企業・社会福祉法人におけるボランティア・市民活動者の育成

- 企業の社会貢献活動セミナー(オンライン開催) 詳細 No.16
- 社会福祉法人の社会貢献活動セミナー(オンライン開催) 詳細 No.17

	研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
	企業の社会貢献活動セミナー(オンライン開催)	企業の社会貢献活動担当者等	1	1	1	19	1
	社会福祉法人の社会貢献活動セミナー(オンライン開催)	社会福祉法人の社会貢献活動担当者等	1	1	1	14	3
計			2	—	2	33	—

(5) ボランティア・市民活動支援者の育成

- ボランティアコーディネート研修 詳細 No.18

	研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
	ボランティアコーディネート研修(2回のうちオンライン開催1回)	施設・団体等でボランティアコーディネーションに関わる職員	2	1	2	17	8・2

3 調査・研究・広報

(1) 広報紙・パンフレット・事業報告書の作成

資料名	発行部数	発行日
「ひと&ひと」 (『北九州市社協だより』掲載)	172,000部	令和3年5月1日・8月1日 11月1日・令和4年1月15日
パンフレット 「やさしさの広がるまちづくり」	4,500部	令和3年4月1日
令和2年度事業報告書	HP掲載	令和3年7月2日

4 過年度の参加者推移

(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

年度	開催回数(回)	延べ開催日数(日)	参加実人数(人)
平成29年度	12	39	1,208
平成30年度	12	36	1,216
令和元年度	13	34	1,152
令和2年度	17	33	978
令和3年度	17	33	916

(2) テーマ型ボランティア・市民活動者の育成

年度	開催回数(回)	延べ開催日数(日)	参加実人数(人)
平成29年度	12	16	340
平成30年度	11	15	346
令和元年度	10	14	365
令和2年度	10	13	283
令和3年度	10	13	217

(3) 小地域福祉活動者(地縁型ボランティア)の育成

年度	開催回数(回)	延べ開催日数(日)	参加実人数(人)
平成29年度	19	21	1,185
平成30年度	19	21	1,354
令和元年度	19	21	1,363
令和2年度	22	24	826
令和3年度	11	13	598

(4)企業におけるボランティア・市民活動者の育成

年 度	開催回数 (回)	延べ開催日数 (日)	参加実人数 (人)
平成 29 年度	2	2	69
平成 30 年度	2	2	45
令和元年度	1	1	20
令和 2 年度	2	2	49
令和 3 年度	2	2	33

(5)ボランティア・市民活動支援者の育成

年 度	開催回数 (回)	延べ開催日数 (日)	参加実人数 (人)
平成 29 年度	1	1	32
平成 30 年度	2	2	37
令和元年度	2	2	33
令和 2 年度	2	2	38
令和 3 年度	2	2	33

(6)延べ研修参加人数

年 度	開催回数 (回)	延べ開催日数 (日)	参加実人数 (人)
平成 29 年度	47	80	2,900
平成 30 年度	46	76	2,998
令和元年度	45	72	2,933
令和 2 年度	53	74	2,174
令和 3 年度	42	63	1,781

令和3年度 まちづくりセミナー 実施要領

「with コロナのまちづくり」(日程変更後) ～ICT を活用し明るい未来をめざして～

- 1 趣 旨** 新型コロナウイルスが蔓延し、私たちの日常生活も大きく変化しました。ソーシャルディスタンス、マスク越しの会話、会食の制限、病院等での面会制限、物理的な距離を保つ中、人との繋がりも薄くなったように感じます。社会情勢と共に私たちの活動も多様化していかなければなりません。
- この講座では、with コロナ時代の「今」に焦点を当て、今だからこそできる取り組み、人との繋がりについて皆さんと一緒に考えて行きます。これからの明るい「未来の芽」を皆さんで探しませんか？
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** ウェルとばた12階H・I研修室(戸畑区汐井町1-6)
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対象者** テーマに関心のある方 30名
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料** 700円(研修初日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。)

6 研修日程・内容

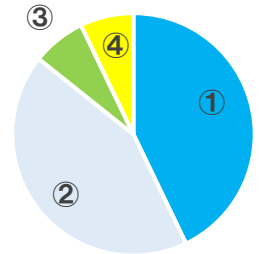
時 間		内 容	講 師 等
① 7月 24日 (土)	10:00 ～ 12:00	With コロナ 私たちの暮らしはどう変わったの？	公立大学法人 北九州市立大学 地域創生学群 准教授 坂本 毅啓
② 7月 31日 (土)	10:00 ～ 12:00	地域福祉と ICT (情報通信技術)	
③ 8月 7日 (土)	10:00 ～ 12:00	今、私たちがまちづくりにできること	

■ 実施状況

受講者	申込者数 (男・女)	出席者数 (出席率)	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	24 人 11・13	22 人 58.33%	53 人	65.42 才			延 3 日	延 6 日

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか いと 満足できた	どちらとも いえない	あまり満足 できなかった	不満だった
	14 件 63.6%	満足 できたか?	6 42.9%	6 42.9%	1 7.1%	1 7.1%	0 0%



主な意見	■ コロナ禍により、これまで当然だった集う事が制限されるようになった現在、これからの人とのつながり方について学びたい。
	■ 資料が大変参考になりありがたかったです。基本的な注意すべき点など、活用について勉強になった。
	■ 苦手意識もあり、新しいことにチャレンジできずにいたが、一步踏み出す機会が持て
	■ た。ぜひ活用したい。コロナによる生活の変化に応じたピッタリのテーマだった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為6月から7月に延期して開催した。
	■ 1回目はコロナが蔓延し、どのように変わったか、北九州市の感染状況や新しい生活様式の講義など座学中心で行われた。
	■ 2, 3回目は、スマートフォンやパソコンを使い、まずはOutlookのメールアドレスを作る所から始めた
	■ 人によりITスキルは様々だったが、講師が学生ボランティアを5人連れてきたので、細やかなフォローをすることができた
	■ 年齢層も高かったが、新しい情報を得ることができ、受講者の満足度は高かった。

■ 研修風景



— 令和3年度 —

「子育て支援ボランティア養成講座」 実施要領

～新たな社会問題に対応する講座～

- 1 目的** 子どもはみんな若木のように伸び伸びと健やかに育つ力を持っています。
しかし、成長する過程では、悩んだり、鍵っ子で淋しい思いをしたり、貧困、虐待、いじめによる、不登校、自殺など、厳しい環境にさらされる時もあります。子どもがそのような状況で助けを求めた時、差し出した手を握り返し、暖かな陽の光を注ぎ、子どもの育つ力を助けるようなボランティア活動について学びます。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** ウェルとばた12階H・I研修室（戸畑区汐井町1-6）
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対象者** 子どもに向けたボランティア活動に意欲的な方（定員30名）
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料** 700円（研修初日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。）
- 6 日程・内容** 令和3年11月4日（木）・9日（火）（全2日間）

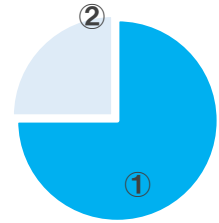
	日時	内容	講師等
一日目 11月4日 (木)	13:00～	受付	
	13:30～	開講・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
	14:00～ 15:00	子どもを取り巻く環境 ～みんなで子どもの命と育ちを守りましょう～	北九州市子ども家庭局 子育て支援課 児童虐待防止係長 武宮 ちさ
	15:00～ 15:10	休憩	
	15:10～ 16:15	子どもが安心して話ができる心の「居場所」 ～チャイルドライン北九州から発信～	NPO法人 チャイルドライン北九州理事長 北九州市立大学名誉教授 河嶋 静代
	16:15～ 16:30	ボランティアはじめてみませんか ～電話でつながる心の居場所・子どもに寄り添い、聴く～	
二日目 11月9日 (火)	13:00～	受付	
	13:30～ 14:10	子どもから高齢者まで多世代共生の居場所づくり～子ども食堂とは～	北九州市子ども家庭局 子育て支援課 子ども食堂担当係長 上島 未知人
	14:10～ 15:10	子ども食堂の取り組みとボランティア活動について	八っちゃん家 代表 田畑 美佐代
	15:10～ 15:20	休憩	
	15:20～ 16:15	すべての子どもたちが大切とされる社会を目指して～ボランティアはじめてみませんか～	NPO法人 フードバンク北九州 ライフアゲイン 理事長 原田 昌樹
	～16:30	閉講	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

参加者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	35 人	32 人	64 人	59.3 才			2 日	6 時間
	3・32	91.4 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも言 えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	24 件	満足 できたか?	18	6	0	0	0
	75.0 %		75.0 %	25.0 %	0 %	0 %	0 %



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ 虐待やヤングケアラーへの本市の取り組みや支援・対応などわかりやすい説明だった。 ■ チャイルドラインの具体例が多く、現状や活動がとても実感することができた。 ■ 子どもたちの問題解決に、支援の輪が広がっていくと良いと思った。 ■ 子ども食堂は貧困家庭の子どもに対する支援だけでなく地域のつながりの場になっているのだなど、強く関心を持った。
------	--

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 孤立防止を子ども中心テーマに絞った初開催の講座だが、参加者のほぼ全員が子どもの支援希望だった。講義内容も各団体の現在の取り組みや支援の現状の現状や活動呼びかけで構成し、担い手をつなぐ成果 (子ども食堂3名・チャイルドライン4名・フードバンク2名) と講座開催で新たにふくおか子育てマイスター事務局との広報連携成果ができた。 ■ 市民のボランティアの契機となり、担い手を増やす取り組みは継続して実施したい。
--------------------	---

■ 研修風景

1日目 オリエンテーション		1日目 子どもが安心して話ができる心の「居場所」 〜チャイルドライン北九州から発信〜	
2日目 子ども食堂の取り組みと ボランティア活動について		2日目 すべての子どもたちが大切と される社会を目指して〜ボラ ンティアはじめてみませんか	

— 令和3年度 —

ふくしのまちづくり講座(門司区 小森江西校区) 実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
小森江西校区では、講座を通して、参加者が、ふくしのまちづくり計画や地域での取り組みへのやりがい・楽しみ方などを知ることが目的としています。
- 2 実施主体** 小森江西校区社会福祉協議会、北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 小森江西市民センター（門司区矢筈町5-42）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方、校区の助け合い活動に参画する方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「スタート! 『小西 安心お助け隊』」

7 研修日程・内容

日 程		内 容	講 師 等
一日目 10月 21日 (木)	19:00 ～	開 会・オリエンテーション	小森江西校区社会福祉協議会
	19:10 ～ 21:00	報告 「小西 安心お助け隊委員会」 と校区のこれから	小森江西校区社会福祉協議会 会 長 森川 征彰
		説明・意見交換 「小西 安心お助け隊委員会」 ～小地域福祉活動第1次計画～	小西 安心お助け隊委員会 委員長 安藤 博之
二日目 調整中	：	勉強会 スタート! 「小西 安心お助け隊」 ①活動内容とルール ②活動の流れ 他	小西 安心お助け隊委員会 委員 ○○ ○○
	：		【アドバイザー】 北九州市社会福祉協議会 門司区事務所
	～	閉 会	小森江西校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	— 人	22 人	22 人	— 才		1 日	2 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言うと満足できた	どちらとも言えない	あまり満足できなかった	不満だった
	件	満足できたか?					
	%		%	%	%	%	%

主な意見	■ 地域で助け合いが必要になる。
	■ 「安心お助け隊委員会」はとても良いことだと思う。
	■
	■

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 現在の校区の様子とこれからのことを会長が話し、お助け隊の説明があった。
	■ より住みやすい校区にするために、住民と一緒に考える機会になった。
	■ 2回目は、年度内に開催予定。(未定)

■ 研修風景

1 回目 ①		1 回目 ②	
2 回目		閉 会 挨拶	

— 令和2年度 —

ふくしのまちづくり講座(門司区・大積校区) 実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
大積校区では、講座を通して、参加者がふくしのまちづくり計画や地域での取り組みへのやりがい・楽しみ方などを知ることがを目的としています。
- 2 実施主体** 大積校区社会福祉協議会、北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 東郷市民センター（門司区黒川西1丁目3番26号）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方、計画づくりに参画する活動者
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「よりよい大積校区にむかって！！～小地域福祉活動第1次計画始動～」
- 7 研修日程・内容**

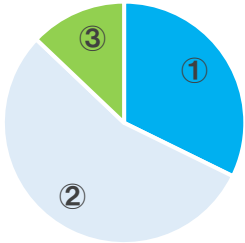
日 程		内 容	講 師 等
第1回目 R2 10月 7日 (水)	18:00 ～	開 会・オリエンテーション	大積校区社会福祉協議会
	18:00 ～ 20:00	講 義 目からウロコのまちづくり ～豊かな発想で地域を明るく元気に～	株式会社まちづくり計画研究所 代表取締役 今泉 重敏
第2回目 R3 11月 17日 (水)	19:00 ～ 20:00	報告会 よりよい大積校区にむかって！！ ～小地域福祉活動第1次計画始動～	大積校区社会福祉協議会 会長 小田 穂積 北九州市社会福祉協議会 門司区事務所
	20:00 ～	閉 会	大積校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 修 等 日 数	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	— 人	— 人	54 (R3.41) 人	— 才		2 日	3 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	31 件	満足 できたか?	10	17	4		
	75.6 %		32.3 %	54.8 %	12.9 %	%	%



主な意見	■ 目からウロコの研修でした。発想の転換で、自分になにができるか、少しずつすすめていきたいです。
	■ 少しのアイデアをみんなで広げるすばらしさがわかりました。
	■ 安心して暮らせる地域づくりの為に、とても良い活動だと思う。計画が実行でき、地域の方の助けができるとういと思う。その為にも協力していきたい
	■ 何もしていないので、少しわかりました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 小地域福祉活動計画を計画している校区にまちづくりについての研修を行った。視点を変えて、楽しく笑顔で生活ができる住みやすいまちづくりについて学んだ。
	■ 2回目は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、次年度に繰り越した。計画
	■ づくりが始動しており、みんな熱心に話を聞いていた。

■ 研修風景

開会・オリエンテーション		目からウロコのまちづくり	
よりよい大積校区にむかって①		よりよい大積校区にむかって②	

— 令和2年度 —

ふくしのまちづくり講座(門司区・柄杓田校区) 実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
柄杓田校区では、講座を通して、参加者が、ふくしのまちづくり計画や地域での取り組みへのやりがい・楽しみ方などを知ることを目的としています。
- 2 実施主体** 柄杓田校区社会福祉協議会、北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 東郷市民センター（門司区黒川西1丁目3番26号）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方、計画づくりに参画する活動者
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「未来の柄杓田校区について考えよう！」
- 7 研修日程・内容**

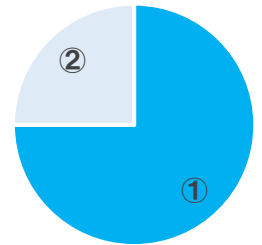
日 程		内 容	講 師 等
一日目 10月 7日 (水)	18:00 ～	開 会・オリエンテーション	大積校区社会福祉協議会
	18:00 ～ 20:00	講 義 目からウロコのまちづくり ～豊かな発想で地域を明るく元気に～	株式会社まちづくり計画研究所 代表取締役 今泉 重敏
二日目 R3 延期 実施予定 だったが、新型 コロナウ イルス感 染症蔓延 のため中 止	13:30 ～ 15:30	報告会 お隣さんの計画を聞いてみよう！ ～基本計画体系図の特徴と 重点実施項目～	柄杓田校区社会福祉協議会 会 長 上野 誠司 【アドバイザー】
	～ 15:30	閉 会	柄杓田校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	— 人	— 人	12 (R3.0) 人	— 才			1 日	2 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか 言うと 満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	12 件	満足 できたか?	9	3			
	%		75.0 %	25.0 %	%	%	%



主な意見	■ 目からウロコの研修でした。発想の転換で、自分になにができるか、少しずつすすめていきたいです。
	■ 少しのアイデアをみんなで広げるすばらしさがわかりました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 小地域福祉活動計画を計画している校区にまちづくりについての研修を行った。視点を変えて、楽しく笑顔で生活ができる住みやすいまちづくりについて学んだ。
	■ 2回目は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、次年度に延期の予定だったが、コロナウイルスまん延の為、開催中止となった。

■ 研修風景

開会・オリエンテーション		目からウロコのまちづくり①	
目からウロコのまちづくり②		地域支援コーディネーター	

— 令和3年度 —

ふくしのまちづくり講座（小倉北区・日明校区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校(地)区社協と市社協が協働で講座を開催するものです。
日明校区では、住み慣れたまちでいつまでも健康でいきいきと暮らしていくために、講座を通して、コロナ禍におけるフレイル予防や認知症について学び、みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくりを進めていきます。
- 2 実施主体** 日明校区社会福祉協議会、北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 日明市民センター 1階 多目的ホール
(小倉北区日明4丁目3-7)
- 4 対 象 者** 日明校区社協活動者、民生委員、福祉協力員、町内会関係者など
- 5 タイトル** 日明でず〜っと暮らしたい！
～ 人生100年時代！ずっと健康でいるために～

6 研修日程・内容

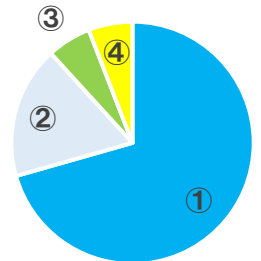
日 程		内 容	講 師 等
一日目 11月11日 (木)	10:00	開 会	日明校区社会福祉協議会 会長 太田 徹臣
	～	オリエンテーション	日明校区社会福祉協議会 事務局 宮原 千佳子
	10:10 ～ 11:30	人生100年時代！ずっと健康でいるために① ～笑って楽しく！フレイル予防～	ちーむ・レク☆さす 代表 尾中 美穂
二日目 11月25日 (木)	10:00	人生100年時代！ずっと健康でいるために②	キャラバンメイト 中村 真理子
	～	～認知症を正しく理解し、認知症の人やその家 族を見守る応援者になろう～	
	11:20 ～ 11:30	閉 会	日明校区社会福祉協議会 副会長 嘉村 正隆

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					
	—	25	44	—		2	3
	— 人	— 人	— 人	— 才		— 日	— 日

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	17 件	満足 できたか?	12	3	1	1	0
	68.0 %		70.6 %	17.6 %	5.9 %	5.9 %	0 %



主な意見	■ 教えていただいたレクリエーション、家に帰ってから家族にも教えて一緒に楽しもうと思う。
	■ 楽しく、頭、体を目いっぱい使った。
	■ 認知症について学んだことも過去にあったが、正しく理解できてなかったなあと感じる内容だった。とても勉強になった。

■ 事業点検

点検・講評	■ 1日目のシナプソロジーで楽しく体を動かし、家やサロンでも簡単に取り組める講義内容は好評だった。
(今後の取り組み)	■ 「もっと多くの高齢者が外に出る取組みを」という要望に引き続き応えていきたい。

■ 研修風景

開会挨拶		1 日目 「人生100年時代ーすこ と健康でい るために」	
			閉会挨拶
2 日目 「人生100年時代ーすこ と健康でい るために②」			

— 令和3年度 —

ふくしのまちづくり講座（小倉南区・長尾校区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
長尾校区では、参加者があらためて小地域福祉活動の大切さを学びながら、参加者のモチベーション向上や参加者同士の交流を図るなどし、地域で活躍できる活動者の拡大を目指します。
- 2 実施主体** 長尾校区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** 長尾市民センター（小倉南区長行西1丁目1-1）多目的ホール
- 4 対象者** 地域にお住まいの方 約30名
- 5 受講料** 無料
- 6 タイトル** 「気づく力を高めよう！ ～ 地域共生社会を目指して」

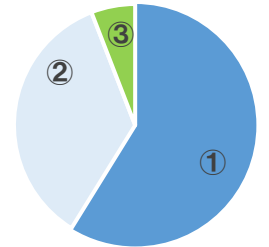
日 程		内 容	講 師 等
一日目 2月 26日 (土)	14:00 ～ 14:05	開 会・オリエンテーション	長尾校区社会福祉協議会 会長 井下 一
	14:05 ～ 15:30	講 話 「気づく力を高めよう！～地域が『丸ごと』つながり互いに助け合う、地域共生社会を目指して～」 2-1	九州大谷短期大学 福祉学科学科長/教授 中村 秀一
二日目 3月 12日 (土)	14:00 ～ 15:25	講 話 「気づく力を高めよう！～地域が『丸ごと』つながり互いに助け合う、地域共生社会を目指して～」 2-2	九州大谷短期大学 福祉学科学科長/教授 中村 秀一
	～ 15:30	閉 会	長尾校区社会福祉協議会 会長 井下 一
三日目 3月 15日 (火)	19:00 ～ 19:15	連絡調整会議	長尾校区社会福祉協議会
	19:15 ～ 19:55	「みんなで講座を振り返ろう」 「今後の長尾のふれあいネットワーク活動」	小倉南区社会福祉協議会
	～ 20:00	閉 会	長尾校区社会福祉協議会 会長 井下 一

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	—	44	87	—		3	4
	—人	—人	—人	—才		日	日

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	17 件 68.0%	満足 できたか?	10 58.8%	6 35.3%	1 5.9%	%	%



主な意見	■ 各地の地域福祉の状況が判ってとても有意義だった。自分らしく生きていくための仕組み必要だという事がよく分かりました。
	■ 3回の講座を通じてやる気が出てきた。いろいろな事案を聞いて身近なこととして頭に浮かび、今後の課題も見えてきた。
	■ いろいろな話が聞けてイメージがわいた。今後それを活かしていく仕組みづくりが必要だと思う。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 1回目、2回目中村先生の講義のあと、3回目は意見交換の場とした。受講者各自に、思い思いに感じたことや今後の活動について語っていただくことでみんなで地域の課題を共有することができ、有意義な研修となった。
--------------------	--

■ 研修風景

一回目「気づく力を高めよう」		講師 中村先生	
二回目「気づく力を高めよう」		リモートで視聴 密を避けるため別会場も使用	

— 令和2年度 —

ふくしのまちづくり講座（小倉南区・田原校区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
田原校区では、講座を通して、参加者が、あらためて地域のことを学んだり、活動者との交流をはかったりして、ボランティアへの関心を高めてもらうことを目的とし、地域で活躍できる新たなボランティアの獲得を図ります。
- 「
- 2 実施主体** 田原校区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** 田原市民センター（小倉南区田原3-16-31）
- 4 対 象 者** 地域にお住いの方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「認知症につよいまちづくり」
- 7 研修日程・内容**

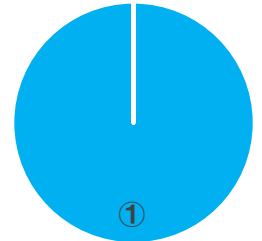
日 程		内 容	講 師 等
一日目 3月 16日 (火)	18:30 ～	開 会・オリエンテーション	田原校区社会福祉協議会
	18:35 ～ 20:00	「認知症に強いまちづくり」 ～コロナ禍での認知症の 現状中心に施設等での活動～	有限会社 時輪 地域密着事業部統括 石川 幸江
二日目 11月 18日 (木)	18:30 ～ 20:00	「災害への備え」 ～地域の現場での役割～	北九州市立大学 基盤教育センター ひびきの分室 准教授 危機管理士 村江 史年
	20:00 ～	閉 会	田原校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	29 人	24 人	44 (R3.24) 人	— 才		2 日	3 時間
	17・12	82.7 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも言 えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	24 件	満足 できたか?	24	0	0	0	0
	100 %		100%	0%	0%	0 %	0 %



主な意見	回答
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 校区での講座を通して認知症への関心が高められたと思う。 ■ とても具体的で理解しやすかった。予防の知識を全く知らなかったので参考にしたい ■ 情報共有方法、連携しての活動をどうするかなど、具体的な話が参考になりました。 ■ 「共助」の大切さを実感しました。また組ごとに避難場所を振り分けておくこともできるアイデアは、とても勉強になりました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	内容
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 災害についての意識が高められ、情報共有・地域での連携など学びとなった研修であった。認知症については対処法やかかわり方の理解が得られた。高齢者の参加が多く研修を日中開催してほしいという声もあった。活動者の確保につなげていきたい。

■ 研修風景



— 令和3年度 —

ふくしのまちづくり講座（藤ノ木校区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、地区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
藤ノ木校区では、災害をテーマとした講座を通して、参加者が、あらためて地域のことを学び、次年度の防災へ向けた取り組みへ繋げること。また活動者との交流の中で、地域活動への関心を高めることを目的に、課題解決や地域で活躍できる人材の獲得を図ります。
- 2 実施主体** 藤ノ木校区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 藤ノ木市民センター（若松区赤島町20-13）
- 4 対象者** 地域にお住まいの方
- 5 受講料** 無料
- 6 タイトル** 藤ノ木発！！ひとづくり・まちづくり
～私たちにできる安心・安全とは～

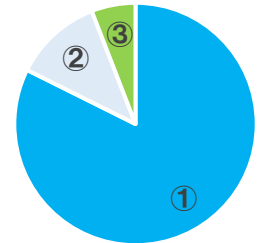
日 程		内 容	講 師 等
一日目 2月 19日 (土)	10:00 ～	開 会	藤ノ木校区社会福祉協議会 会 長 井上 千恵美
		オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会 若松区事務所 主事 前田 純志
	10:05 ～ 11:30	自然災害～藤ノ木のここが心配！ ～防災・減災の目で自分のまちを見 てみよう～	株式会社喜楽学舎 代表取締役/畠田公民館長 防災ファシリテーター 古野 陽一
二日目 3月 12日 (土)	10:00 ～ 11:25	防災をまちづくりで考える	株式会社喜楽学舎 代表取締役/畠田公民館長 防災ファシリテーター 古野 陽一
	～ 11:30	閉 会	北九州市社会福祉協議会 研修課 課長 松田 一喜

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	— 人	19 人	38 人	— 才			2 日	3 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか 言うと 満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	17 件	満足 できたか?	14	2	1		
	89.5 %		82.3%	11.8%	5.9%	%	%



主な意見	■ 日頃、家にこもりがちな年配者に、防災のことで声掛けをしておかなければと気付かされた。
	■ いつどこで災害が起きてもおかしくないことは分かっている、なかなか行動に移せない。今回、何から始めたらいいのかを教えていただき、少し前へ進める気がしてきた。
	■ 防災意識を日常的に考え行動していくことの大切さを改めて実感した。ゼロから少しずつ積み上げたい。

■ 事業点検

点検・講評	■ 地域みんなで情報をとる、地域みんなで取り決めたルールに則り判断する、地域みんなで避難するなど、みんなで課題解決を行う事の重要性を学べた研修となった。
(今後の取り組み)	■ 隣組など地域のコミュニティの重要性も理解していただけたと思う。

■ 研修風景



— 令和3年度 —

ふくしのまちづくり講座(八幡東区・尾倉第二地区) 実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、地区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。

尾倉第二地区で、元気で安心してずっと暮らせるように、地域のみなさんとの交流を通じて地域での支え合いについて考えましょう！

- 2 実施主体** 尾倉第二地区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会、北九州市

- 3 会 場** 尾倉市民センター（八幡東区尾倉1丁目15-2）

- 4 対象者** 福祉協力員（町内会長）等

- 5 受講料** 無料

- 6 タイトル** 「尾倉第二地区の ふだんのくらしのしあわせ 講座」

7 研修日程・内容

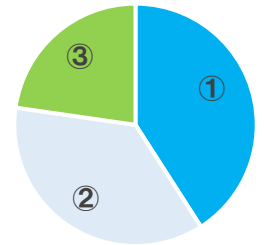
	日 程	内 容 ・ 講 師
第一回	令和3年 10月22日(金) 18:20~20:10	【開 会・オリエンテーション】 尾倉第二地区社会福祉協議会 【講演】「ひとりにしない」という支援 講師：NPO 法人抱樸 理事長 奥田 知志 氏
第二回	令和3年 12月10日(金) 18:20~20:10	【講演】住民の支え合い「ふれあいネットワーク活動」 講師：北九州市立大学 特任教員 勅使河原 航 氏 【閉 会】 尾倉第二地区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	— 人	27 人	49 人	— 才		2 日	3.7 時間
	— ・ —	— %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも言 えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	25 件	満足 できたか?	9	8	5	0	0
	92.6 %		36.0 %	32.0 %	20.0 %	0 %	0 %



主な意見	■ 今の状況がよく、詳しくわかりました。外出が減って前よりずっと世間の事がわかりにくくなっている。ありがとう。
	■ 人としての生き方（精神的）を再認させられた。
	■ 今回、この講座に参加したうちの地域の人が支え合いの重要性を少しは認識してくれたのではないかなと思うが、これをどう広げていくか難しい。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ ふれあいネットワーク活動が身近におりてこない。住民のネットワークが出来ていないなどの声に参加者からあがっており、新たな参加者の受講が想定される。
	■ 参加呼びかけがあればやりたいとの声もあるため、活動者の確保につなげたい。

■ 研修風景

開会挨拶		1 目 「ひとりじゃないという支援」	
			閉会式
2 目 「住民の支え合い『ふれあいネットワ ーク活動』について」			

— 令和3年度 —

ふくしのまちづくり講座(八幡東区・尾倉第四地区) 実施要領

1 趣 旨 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、地区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。

尾倉第四地区で、元気で安心してずっと暮らせるように、地域のみなさんとの交流を通じて地域での支え合いについて考えましょう！

2 実施主体 尾倉第四地区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会、北九州市

3 会 場 尾倉市民センター（八幡東区尾倉1丁目15-2）

4 対象者 福祉協力員（町内会長）等

5 受講料 無料

6 タイトル 『みんなが安心して暮らせるまちづくり』を進める尾倉第四

7 研修日程・内容

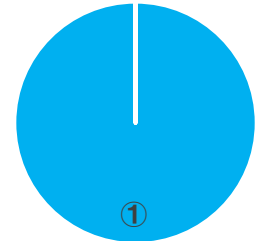
	日 程	内 容 ・ 講 師
第一回	令和3年 12月15日(水) 18:30~20:00	【開 会・オリエンテーション】 尾倉第四地区社会福祉協議会
		【事業説明】ふくしのまちづくり講座について 八幡東区社会福祉協議会
		【講演】本当に大丈夫？ 尾倉第四地区の安全安心を考えよう！ 講師：北九州市立大学准教授村江史年氏
第二回	令和4年 2月18日(金) 18:30~20:00	【講演】「笑って楽しく認知症予防！ ～脳と身体をリフレッシュ～」 講師：ちーむ・レク☆さす代表尾中美穂氏
		【事業説明】ふれあいネットワーク活動について 八幡東区社会福祉協議会
		【閉 会】 尾倉第四地区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	—	30	59	—			2	3
	— 人	— 人	— 人	— 才			— 日	— 日

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも言 えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	28 件	満足 できたか?	24				
	93.3 %		85.7 %	%	%	%	%



主な意見	■ 北九州は災害の少ない所だが、安心はできない。食料の備えや防災グッズも用意したいと思う。ありがとう。
	■ 改めて災害について考える事が出来たと思う。
	■ コロナで外出する機会があまりなく、人とあまり接触しないので久しぶりに楽しい時を過ごせた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 災害の備えと、自助・共助ができるよう、日頃の声かけが重要だと再認識する機会となった。
	■ 脳トレと筋力を保ちフレイル予防を行う事が認知症予防に有効であり、簡単に覚えて手軽に行える運動を実践してもらい、高齢の活動者の体力維持につなげたい。

■ 研修風景

開会挨拶		1 目 「本当に大丈夫？尾倉西地区の 安全安心を考えよう！」	
	2 目 「笑って楽しく認知症予防〜脳と身 体をリフレッシュ〜」		2 目 事業説明 「ふわあいネットワーク活動について」

— 令和3年度 —

ふくしのまちづくり講座(八幡西区・陣原地区) 実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、地区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
陣原地区では、講座を通して、ふれあいネットワーク活動の再整備を図り、他校(地)区の活動を参考にしながら、参加者全員でこれからの陣原地区の活動の進め方について共有を図ることを目的としています。
- 2 実施主体** 陣原地区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 陣原公民館（八幡西区陣原5-10-64）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方 定員40名
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「地域の一人暮らし高齢者を守るため私たちふれあいネットワークにできること」

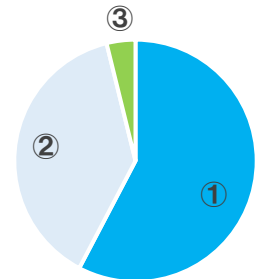
日 程	内 容	講 師 等
一日目 19:00 ～	開 会・オリエンテーション	陣原地区社会福祉協議会
7月 9日 (金) 19:05 ～ 20:00	「ふれあいネットワーク活動について」 ・改めて、ふれあいネットワーク活動とは？ ・見守り活動のコツをつかもう！ ・質疑応答	八幡西区社会福祉協議会 主事 藤永 恭子
二日目 10月 8日 (金) 変更後 19:00 ～ 20:00	「高齢者の総合相談窓口『地域包括支援センター』について」 ・センターにはどんな相談ができるの？ ・介護認定について 等 ・質疑応答	地域包括支援センター 八幡西3 社会福祉士 田中 麻紀子
三日目 11月 12日 (金) 変更後 19:00 ～ 19:55	「これからの地域福祉活動のあり方について」 ・いつまでも元気で活動を続けるための心構え ・活動の仲間を増やすために、これから陣原で考えて行きたい事 等 ・質疑応答	八幡西区社会福祉協議会 事務所長 久留島 一暢
～ 20:00	閉 会	陣原地区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	— 人	37 人	107 人	— 才		3 日	3 時間
	— ・ —	— %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか 言うと 満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	26 件	満足 できたか?	15	10	1	0	0
	72.2 %		57.7 %	38.4 %	3.9 %	0 %	0 %



主な意見	■ 活動中の悩みは自分にもあてはまることが多いが、考え方を改めて本人の気持ちを尊重して活動すればよいということがわかり安心した。
	■ 地域包括センターの内容や主な役割、介護保険の内容が少し理解できた。
	■ 私はいつまで活動出来るのだろうと心配している。でも、これからも頑張ってみようと思っている。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 陣原地区の活動者の高齢化に触れる内容のコメントが多く見られ、自分自身が健康でいることが、活動の継続につながるという気づきが参加者に見られた。
	■ 介護保険制度説明は理解できたと好評で、まだまだ地域で周知が必要だとわかった。

■ 研修風景

開会挨拶		1 目 「ふれあいネットワーク活動について」	
2 目 「高齢者の総合相談窓口『地域包括支援センター』について」		3 目 「これからの地域福祉活動のあり方について」	

— 令和3年度 —

ふくしのまちづくり講座(八幡西区・上津役校区) 実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、地区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
上津役校区では、講座を通して、地域福祉活動への住民の理解と参加をすすめ、第一次小地域福祉活動計画を更に発展させた第二次計画策定の意義と計画の共有を図ることを目的としています。
- 2 実施主体** 上津役校区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 上津役市民センター（八幡西区上の原2-2-16）
- 4 対象者** 地域にお住まいの方 定員 一、二日目 30名 三日目 50名
- 5 受講料** 無料
- 6 タイトル** 「地域福祉活動への住民の理解と参加を進めるために」

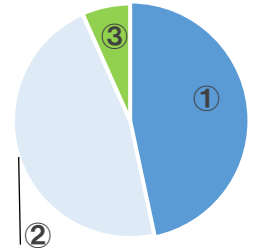
日 程		内 容	講 師 等
一日目 10月 26日 (火)	14:00 ～	開 会・オリエンテーション	上津役校区社会福祉協議会
	14:05 ～ 14:25	「つくってみよう！わたしたちのまちのふくしプラン」	八幡西区社会福祉協議会 事務所長 久留島 一暢
	14:25 ～ 15:05	「上津役校区の思いやりプラン～上津役校区のあゆみとこれまでのふくしプラン～」	上津役校区社会福祉協議会 会長 久保田 雅晴
二日目 11月 30日 (火)	14:00 ～ 14:45	「抱樸型地域包括ケアとは」	認定 NPO 法人抱樸 地域包括支援事業準備室 松本 麻子
	14:55 ～ 16:35	「社協の福祉活動について (DVD 視聴)」	九州大谷短期大学 学科長/ 教授 中村 秀一
三日目 R4 3月 22日 (火)	14:00 ～	開 会・オリエンテーション	八幡西区社会福祉協議会 事務所長 久留島 一暢
	14:10 ～ 15:10	市民講座 「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちを目指して」	北九州市立大学 地域共生教育センター 特任教員 勅使河原 航
	15:15 ～ 15:40	「これからの上津役校区の思いやりプラン」	上津役校区社会福祉協議会 会長 久保田 雅晴
	～ 15:45	閉 会	上津役校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	6
	— —人	28 —人	79 —人	— —才			

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
	15 件		満足できた	どちらか 言うと 満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
			60.0%	7 46.7%	7 46.7%	1 6.6%	%



主な意見	■ 誰もが住み続けられるまちづくりのためには、やはり地域の人とのつながりが大切だと実感した。
	■ 今、福祉協力員が抱えている大きな課題だと思う。大変参考になった。
	■ 「安心」とは共存できるものがあって、初めてできるという言葉が響いた。支え合う事、人とのつながりの大切さを再認識した。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 今回の第2日目は、校区の希望で1日でオンデマンド研修も一緒に受講していただいたため、3時間超の講習時間となり受講者の皆様に長時間拘束してしまう事となった。次回からは早めの日程調整協議を充分に行い、時間についても内容についても余裕のある研修としたい。
--------------------	--

■ 研修風景

会長挨拶		第一回目 「つくってみようーわたしたちのまちのふくしプラン」	
二回目「抱擁型地域包括ケアとは」		三回目 「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちを目指して」	

— 令和3年度 —

ふくしのまちづくり講座(八幡西区・楠橋校区) 実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、地区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
- 楠橋校区では、講座を通して、地域福祉活動への住民の理解と参加をすすめる、地域共生社会を目指して、誰もが安心して住み慣れた地域で暮らすために必要な、住民の地域福祉活動の促進を目的としています。
- 2 実施主体** 楠橋校区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 楠橋市民センター（八幡西区馬場山緑7-41）
- 4 対象者** 地域にお住まいの方 定員 40名
- 5 受講料** 無料
- 6 タイトル** 「楠橋にずっと住みたい！みんなでつくる支え合いのまち」

日 程		内 容	講 師 等
一日目 4月 27日 (木) 延期 (未定)	10:00 ～	開 会・オリエンテーション	楠橋校区社会福祉協議会 会長 白石 恵光
	10:05 ～ 11:25	「みんなで見守るまちにするために ～福祉協力員とは～」	八幡西区社会福祉協議会 事務所長 久留島 一暢
	～ 11:30	閉 会	楠橋校区社会福祉協議会
二日目 2月 24日 (木)	10:00 ～	オリエンテーション	楠橋校区社会福祉協議会
	10:05 ～ 11:25	「いつまでも元気で暮らすために ～認知症予防講座～」 ～シナプソロジーなどを取り入れて 楽しく認知症を予防しましょう～」	ちーむ・レク☆さす 代表 尾中 美穂
	～ 11:30	閉 会	楠橋校区社会福祉協議会
三日目 3月 17日 (木)	10:00 ～	オリエンテーション	楠橋校区社会福祉協議会
	10:05 ～ 11:25	「安心して住み続けるために～私たちにできること～」	北九州市立大学 地域共生教育センター 特任教員 勅使河原 航
	～ 11:30	閉 会	楠橋校区社会福祉協議会 会 長 白石 恵光

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	— —人	28 —人	46 —人	— —才			2 —日	3 —日

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも言 えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	件	満足 できたか?					
	%		%	%	%	%	%

主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「認知症予防講座」では脳と体を活性化させていただき、心も体も元気になった。 ■ 地域の問題に対していろいろな取組があることが参考になった。人とつながる、居場所があるということが大切だと思った。 ■
------	--

■ 事業点検

点検・講評	<ul style="list-style-type: none"> ■ 体を動かしながら脳トレを行うことで認知症予防を体感するといった体験型の研修も今後取り入れていきたい。
(今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 講師の体験談を組み込むことで臨場感が増し、より納得のいく講義となった。

■ 研修風景

会長 関会挨拶		一回目 認知症予防講座	
二回目 勅使河原先生			

— 令和2年度 —

ふくしのまちづくり講座(八幡西区・本城校区) 実施要領

1 趣 旨 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、地区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。

本城校区では、講座を通して、ふれあいネットワーク活動の再整備を図り、他校(地)区の活動を参考にしながら、参加者全員でこれからの本城校区の活動の進め方について共有を図ることを目的としています。

2 実施主体 本城校区・北九州市社会福祉協議会、北九州市

3 会 場 本城市民センター 多目的ホール (八幡西区本城1-15-1)

4 対象者 地域にお住まいの方 定員40名

5 受講料 無料

6 タイトル 「本城発!! ひとつくり・まちづくり～私たちにできる安心・安全とは～」

7 研修日程・内容

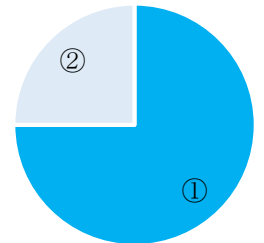
日 程		内 容	講 師 等
一日目 12月 19日 (土)	13:30 ～	開 会・オリエンテーション	本城校区社会福祉協議会
	13:40 ～ 15:00	「突然の災害にあなたはどこまで 備えていますか？」	防災ファシリテーター 古野 陽一
	15:00 ～ 15:30	「クリスマス ハンドベル ミニコンサート」	折尾愛真短期大学 ハンドベルクワイヤー
二日目 令和3年 8月 7日 (土) 実施予定 (緊急事態 宣言に伴い 延期実施 済)	13:30 ～ 13:45	「夏草 琴の調べ (演奏会)」	NPO 法人 和楽啓明
	13:50 ～ 15:00	「平常時の備えが いざという時に役に立つ！」	防災ファシリテーター 古野 陽一
	15:10 ～ 15:25	「ふれあいネットワーク活動における福祉 救援体制づくりとこれからの本城を考 える」	北九州市社会福祉協議会 八幡西区事務所
	～ 15:30	閉 会	本城校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	— 人	34 人	65 (R3.31) 人	— 才			2 日	4 時間
	—・—	— %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも言 えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	28 件	満足 できたか?	18	6	0	0	0
	82.1 %		64.3 %	21.4%	0%	0%	0 %



主な意見	■ 全国35カ所のSランクの活断層の1つが本城近辺を通っていることを初めて知った。
	■ コロナの時期、音色でとても癒された。
	■ 台風と高潮の際には、本城市民センターは避難場所にならないことを知った。災害時には孤立しないこと、普段からの良好なご近所付き合いを保ち、構築しておくことも重要だと改めて確認することができた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ コロナ禍の中、イベントをカリキュラムに組み込むことで、普段校区社協の活動に縁のない新たな参加者層を呼び込むべく企画を校区中心に行ったが、新たな層の参加はあったものの、校区社協の活動登録には結びつかなかったことは再考察が必要。
	■ しかし、現活動者の士気向上にはつながった効果は見受けられた。

■ 研修風景

「突然の災害」にあなただまで備えていますか？」		「クリスマス ハンドベル ミニコンサート」	
「夏草 琴の調べ」(演奏会)		「ふれあいネットワーク活動における福祉支援体制づくりとこれからの本城を考える」	

— 令和3年度 —

ふくしのまちづくり講座（戸畑区・北沢見地区）実施要領

「見守り・話し合い・助け合いのまち北沢見」

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校(地)区社協・区社協・市社協が協働で開催するものです。
北沢見地区では、講座を通して、住民一人ひとりの安全で安心な暮らしを守るために、住民同士の交流をはかり、参加者全員でこれからの地域福祉活動の進め方について共有を図ることを目的としています。
- 2 実施主体** 北沢見地区・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** 沢見市民センター（戸畑区小芝2丁目1番4号）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 研修日程・内容**

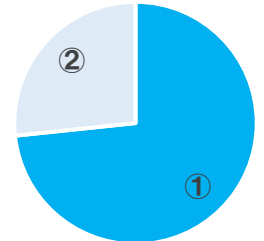
日 程		内 容	講 師 等
一日目 10月 22日 (金)	10:00 ～	開 会	北沢見地区社会福祉協議会 会 長 長岡 祥子
		オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会 戸畑区事務所 (戸畑区社会福祉協議会)
	10:10 ～ 11:30	【ワーク】 「ふれあいネットワーク活動 推進事業」	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課 課長 南里 佳代子
二日目 11月 26日 (金)	10:00 ～ 11:30	【ワーク】 「他校(地)区の取り組みを聞こう」	八幡西区 上津役校区社会福祉協議会 会長 久保田 雅晴
	11:30	閉 会	北沢見地区社会福祉協議会 副会長 村野 重徳

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	17人	17人	38人	—才		2日	3時間
	—・—	—%					

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも言 えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	15件	満足 できたか?	11	4	0	0	0
	60.0%		73.3%	55.6%	0%	0%	0%



主な意見	■ 「見守り、話し合い、助け合いのまち北沢見」の地域になるためには福祉協力員、民生委員、各団体が協働して話し合っ進めていくことが大切だと思った。
	■ 初めての参加なので、何もわからない自分だったが、勉強させてもらった。
	■ 他校地区の社協活動を具体的に聴けてよかった。今後の活動の元になる。
	■ 様々な関連団体との会議・連携など大変素晴らしく思いました

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 1回目の社協活動の基本的な話や、2回目の他校(地)区社協の取り組みは、「福祉活動の大切さを丁寧に分かりやすく教えてくれた」と大変好評だった。
	■ 新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、消毒、マスクを徹底した。

■ 研修風景

関会挨拶 長岡会長		ふれあいネットワーク活動推進事業	
他校(地区)の取り組みを聞こう		関会挨拶 村野副会長	

— 令和3年度 —

ふくしのまちづくり講座（戸畑区・牧山地区）実施要領

「強くかたい見守りのまちへ」

- 1 趣 旨 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校(地)区社協・区社協・市社協が協働で開催するものです。
 牧山地区では、講座を通して、住民一人ひとりの安全で安心な暮らしを守るために、住民同士の交流をはかり、参加者全員でこれからの地域福祉活動の進め方について共有を図ることを目的としています。
- 2 実施主体 牧山地区・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場 牧山市民センター（戸畑区牧山4丁目1番22号）
- 4 対 象 者 地域にお住まいの方
- 5 受講料 無料
- 6 研修日程・内容

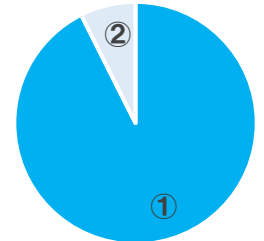
日 程		内 容	講 師 等
一日目 3月 8日 (火)	19:00 ～	開 会	牧山地区社会福祉協議会 会 長 横田 健治
		オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会 戸畑区事務所 (戸畑区社会福祉協議会)
	19:10 ～ 20:10	児童、高齢、障害と種別を問わない 「地域福祉」について	北九州市立大学 地域共生教育センター 特任教員 勅使川原 航
	20:10 ～ 20:40	日常生活における高齢者への「やさしい 見守り」について	北九州市社会福祉協議会 戸畑区事務所 (戸畑区社会福祉協議会)
二日目 3月 24日 (木)	19:00 ～ 20:00	地域包括ケアの概念と実践 ～抱樸の地域包括ケアとは～	NPO 法人抱樸 地域包括支援事業準備室 松 本 麻 子
	20:10	閉 会	牧山地区社会福祉協議会 副会長 木下 記代美

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					
	36人	67人	67人	—才		2日	3日
	—	—%					

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも言 えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	29件	満足 できたか?	25	2	0	0	0
	80.6%		86.2%	6.9%	0%	0%	0%



主な意見	■ 見守り活動の原点に戻ることの大切さを学びました。
	■ 一方的な話ではなく、相互に話し合うところがよかった。
	■ あらためて、地域の見守りが大切である、ということ感じました。
	■ 経験に基づいた貴重なお話が聞けた

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 1回目の地域福祉の話や、2回目の地域包括ケアの概念と実践の話は、「見守りや、思いやりの心を改めて考えた」と大変好評だった。
	■ 新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、消毒、マスクを徹底した。

■ 研修風景

開会挨拶 会長 横田 健治氏		一 日 目 北九州市立大学 勅使河原 航氏	
NPO法人 一 日 目 抱僕 松本 麻子氏		研修の様子	

— 令和3年度 —

(ボランティアウィーク 2021ボランティアフォーラム クロージングイベント)

市民講演会 実施要領

「災害ボランティアセミナー」

1 目 的 近年、各地で発生している災害において、多くの人が被災されています。この被災された人々の助けとなり、大きな力を発揮しているのが災害ボランティアです。

北九州市社協には、災害ボランティアとして約300名（令和3年4月）が登録されており、災害時の支援活動に備えるとともに、それぞれ日常の減災活動を行っています。

本セミナーは、これらの災害ボランティアや災害ボランティア活動に関心のある方に、コロナ禍での災害ボランティアセンターの運営など最新の情報を伝えるとともに、広く市民の皆様に災害ボランティア活動の意義や災害ボランティアセンターの理解を深めてもらうことを目的として開催します。

2 実施主体 北九州市社会福祉協議会・北九州市

3 会 場 ウェルとばた 3階 中ホール（北九州市戸畑区汐井町1番6号）

4 対 象 者 ボランティアに関心のある方、ボランティアとして活動中の方など
【定員120名】

5 受 講 料 無料

6 日 程・内 容 令和3年 10月23日（土） 14：00～16：00

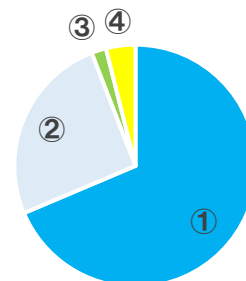
時 間	内 容
13：30～	受 付
14：00～14：05	開 会・オリエンテーション 北九州市社会福祉ボランティア大学校 校長 久塚 純一
14：05～14：50	基調講演 「近年の災害ボランティア活動について」 講師 一般社団法人 九州防災パートナーズ 代表理事 藤澤 健児
14：50～15：00	休憩
15：00～15：50	被災地レポート 「朝倉市松末地区での災害ボランティアの活躍」 講師 朝倉市松末地域コミュニティ協議会 前会長 伊藤 睦人 聞き手 藤澤 健児
～16：00	閉 会・挨拶 ボランティアウィーク2021 副実行委員長 坂本 毅啓 全実行委員

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 修 等 日 数	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					
	— 人	67 人	67 人	— 才		1 日	2 時間
	— . —	— %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			非常に 有意義だ	どちらか と 有意義だ	どちらとも 言えない	あまり参考 にならない	全く参考 にならない
	53 件		35	13	1	2	0
	79.1 %		66.0 %	24.5 %	1.9 %	3.8 %	0 %



主な意見	<p>■ 最近防災活動が高まりつつあるが、北九州でも地域差があり、かけ崩れ、水害、高潮など地域によって活動の目的が違うので町内会、自治会単位での活動が必要。「わたしたちのまちは私たちが守る」からスタートすべし！</p> <p>■ 石灰をまかない！今までは地区から配達され、それをまいていた。コロナで活動が難しくなった。</p>
------	---

■ 事業点検

点検・講評	<p>■ 危機管理室やコミュニティ支援課の市職員、自治会の方々も受講していただきたいという意見もあり、今後の災害ボランティアセミナーで広報を検討したい。</p> <p>■ 被災地の松末地区のボランティア受け入れに対する現場の生の声が好評だった。</p>
(今後の取り組み)	

■ 研修資料

表紙		基調講演 「近年の災害ボランティア活動について」	
基調講演 「近年の災害ボランティア活動について」	<p>コロナ禍における支援活動</p> <p>県外支援者の制約</p> <p>⇒ 私たちの町は私たちが守る</p> <p>福岡県内の状況</p> <p>技術的支援団体の不足</p> <p>⇒ 人材育成が重要</p>	基調講演 「これからの地域福祉活動の展望」	<p>九州北部豪雨災害ボランティア</p> <p>松末地区コミュニティ協議会 伊藤 勉 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> 被災以前の状況 被災直後 <ul style="list-style-type: none"> 〇被災直後部 「熊 さん（松末）」(東峰村と熊野) 乙石川、赤石川、小内内川 〇被災直後部 <ul style="list-style-type: none"> 〇被災直後部 「熊 さん（松末）」(東峰村と熊野) 熊野 32 号線(熊野八女有線) 11 号道 754 人、254 世帯 高齢化率 39% 〇被災直後の公共施設 「熊野市立松末小学校」(1130 年 3 月閉校予定) 「熊野市立松末保育所」 〇避難所を中心とした地域 <ul style="list-style-type: none"> → 避難所の開設と共に若者が避難所へ → 地域復興の取り組みとして避難所地帯にそば製菓を導入 → 熊野市立松末小学校の中心に暮らし → 平成 29 年 7 月避難所閉鎖の状況

— 令和3年度 第1回 —

福祉有償運送運転協力者研修 実施要領

- 1 目的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市（国自旅第262号認定）
- 3 対象者** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去2年以内において停止されていない者であって、免許取得から3年以上の実車経験がある者
- 4 定員** 30人
※希望者が定員を超える場合は、市内福祉有償運送実施団体登録者の受講を優先します。
- 5 受講料** 市内福祉有償運送実施団体登録者（予定者）… 1,000円
上記以外の者 …… 7,000円
(研修日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。)
- 6 日程・内容** ※裏面の通り
- 7 申込方法** 別紙「受講申込書」により、令和3年4月1日(木)～30日(金)までに、郵送またはFAXにてお申込ください。
※受講の決定・研修詳細は、受付締切後郵送にてお知らせいたします。
- 8 事務局** 北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 研修課
北九州市社会福祉ボランティア大学校（担当：安達、松田）
〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた3F
TEL：093-881-6321 FAX：093-881-6306

①【福祉車両】

- (1) 日程・会場 令和3年7月17日(土) 9:15~18:25
北九州市立玄海青年の家 (若松区大字竹並126-2)
- (2) 受講対象者 実施要領3の対象者のうち、第二種運転免許を有していない方

(3) 研修内容

時間	内容		講師	研修会場
9:15~9:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		第1 研修室
9:20~10:10	講義	関係法令等	北九州タクシー協会 副会長 貞包健一	
10:15~11:05		安全・安心運行と緊急時対応		
11:10~12:00		運転方法	ヘルパーステーション ほほえみ (永田 淳)	
12:00~12:50	休憩			
12:50~13:40	講義	障害の知識及び利用者理解	作業療法士 熊添潤一	グラウン ド
13:45~14:45		介護技術		
14:50~15:50		基礎的な接遇技術		
15:55~16:55	実技	福祉自動車の特性	ヘルパーステーション ほほえみ (派遣講師)	
17:00~18:20		福祉自動車運転方法(演習)		
18:20~18:25	閉会	まとめ		第1 研修室

②【セダン型】

- (1) 日程・会場 令和3年7月18日(日) 9:15~11:45
ウェルとばた12H・I研修室(戸畑区汐井町1-6)
※駐車場(有料)の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- (2) 受講対象者 ①の福祉車両研修の修了者又は、第二種運転免許を有しているが、ヘルパーや介護福祉士の資格を有していない方。

(3) 研修内容

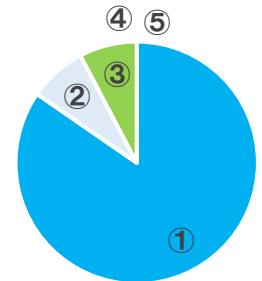
時間	内容		講師	研修会場
9:15~9:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		12H・I 研修室
9:20~10:10	講義	利用者理解及び乗降介助等の対応	作業療法士 熊添潤一	
10:20~11:40	実技	利用者理解及び乗降介助等の対応		
11:40~11:45	閉会	まとめ		12H・I 研修室

■ 実施状況【福祉車両】

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	30 人	26 人	26 人	52.2 才			1 日	10 時間
	10・16	86.7 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回数)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか というと 満足できた	どちらとも いえない	あまり満足 できなかった	不満だった
	26 件	満足 できたか?	22	2	2	0	0
	100.0 %		84.6 %	7.7 %	7.7 %	0 %	0 %



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> 福祉有償運送の法的位置づけ、現状について理解できた。 運行、利用者、サービスの流れなどについて学び、特に利用者への気配り、心配り緊急対応について、理解する事ができた。 ドライブレコーダーの映像で、さまざまな危ない場面を見て、運転時の気をつける点など、わかりやすかった。
------	--

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> 福岡県に緊急事態宣言が発令された為、当初の日程から約2ヶ月延期した。また、開催場所も予定していた場所がワクチン接種会場になった為、変更した。 駐車場の誘導や受付などもスムーズで、研修も滞りなく進むことが出来た。 実技では手袋、マスク、消毒を徹底させ、距離をとり、密にならない様心掛けた。
--------------------	---

■ 研修風景

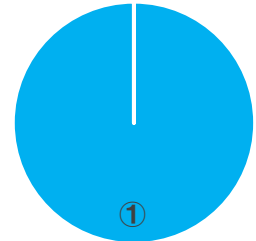
関係法令等 貞包健一氏		運転方法の講義 永田淳氏	
障害の知識及び利用者理解		福祉自動車運転方法(演習)	

■ 実施状況【セダン型】

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	4 人 0・4	4 人 100.0%	4 人	51.8 才			1 日	3 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか というと 満足できた	どちらとも いえない	あまり満足 できなかった	不満だった
	4 件 100.0%	満足 できたか?	4 100.0%	0 -	0 -	0 -	0 -



主な意見	■ これからの仕事にとっても役立つお話でした。
	■ 具体例が多く分かりやすかったです。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 福岡県に緊急事態宣言が発令された為、当初の日程から約2ヶ月延期した。
	■ シルバーひまわりの登録者2名と市内の福祉有償の団体2名が受講した。
	■ 実技は福祉車両ではない車をドアの開閉の角度、座高の高さなど、講師の説明を聞きながら確認し、利用者を補助する時に役立つ内容だった。

■ 研修風景

講義		実技①	
実技②		修了証書授与式	

— 令和3年度 第2回 —

福祉有償運送運転協力者研修 実施要領

- 1 目的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市（国自旅第262号認定）
- 3 対象者** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去2年以内において停止されていない者であって、免許取得から3年以上の実車経験がある者
- 4 定員** 30人
※希望者が定員を超える場合は、市内福祉有償運送実施団体登録者の受講を優先します。
- 5 受講料** 市内福祉有償運送実施団体登録者（予定者）… 1,000円
上記以外の者 …… 7,000円
(研修日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。)
- 6 日程・内容** ※裏面の通り
- 7 申込方法** 別紙「受講申込書」により、令和3年9月1日(水)～23日(木)までに、郵送またはFAXにてお申込ください。
※受講の決定・研修詳細は、受付締切後郵送にてお知らせいたします。
- 8 事務局** 北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 研修課
北九州市社会福祉ボランティア大学校（担当：安達、松田）
〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた3F
TEL：093-881-6321 FAX：093-881-6306

①【福祉車輜】

- (1) **日程・会場** 令和3年10月10日(日) 9:15~18:25
北九州市立玄海青年の家(若松区大字竹並126-2)
- (2) **受講対象者** 実施要領3の対象者のうち、第二種運転免許を有していない方

(3) 研修内容

時間	内容		講師	研修会場
9:15~9:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		第1 研修室
9:20~10:10	講義	関係法令等	北九州タクシー協会 副会長 貞包健一	
10:15~11:05		安全・安心運行と緊急時対応		
11:10~12:00		運転方法	ヘルパーステーション ほほえみ(永田 淳)	
12:00~12:50	休憩			
12:50~13:40	講義	障害の知識及び利用者理解	作業療法士 熊添潤一	
13:45~14:45		介護技術		
14:50~15:50		基礎的な接遇技術		
15:55~16:55	実技	福祉自動車の特性	ヘルパーステーション ほほえみ(派遣講師)	グラウン ド
17:00~18:20		福祉自動車運転方法(演習)		
18:20~18:25	閉会	まとめ		第1 研修室

②【セダン型】

- (1) **日程・会場** 令和3年10月16日(土) 9:15~11:45
ウエルとばた12H・I研修室(戸畑区汐井町1-6)
※駐車場(有料)の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- (2) **受講対象者** ①の福祉車両研修の修了者又は、第二種運転免許を有しているが、ヘルパーや介護福祉士の資格を有していない方。

(3) 研修内容

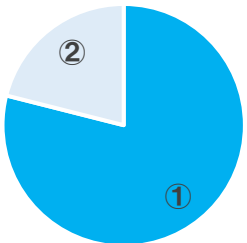
時間	内容		講師	研修会場
9:15~9:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		12H・I 研修室
9:20~10:10	講義	利用者理解及び乗降介助等の対応	作業療法士 熊添潤一	
10:20~11:40	実技	利用者理解及び乗降介助等の対応		
11:40~11:45	閉会	まとめ		12H・I 研修室

■ 実施状況【福祉車両】

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	24 人	19 人	19 人	47.7 才		1 日	10 時間
	12・12	79.2 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回数)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか というと 満足できた	どちらとも いえない	あまり満足 できなかった	不満だった
	19 件	満足 できたか?	15	4	0	0	0
	100.0 %		78.9 %	21.1 %	0 %	0 %	0 %



主な意見	■ 特に緊急時の対応は、自動車運転を日頃行う際にも役立つ知識だと思った。
	■ 動画を見て学習したり、わかりやすかった。
	■ 利用者に対する対応など基礎的なことを学べた。
	■ 実践をまじえながらの演習でとても理解ができた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 先月は緊急事態宣言が発令されていたが、解除され無事に開催することができた。
	■ 座学、実技とも必要な知識を学ぶことができ「長い時間の研修だったが、あっという間だった。有意義な時間だった」などの声が聞かれ評価は高かった。
	■ コロナ対策で消毒、マスク、手袋など徹底させ気をつけた。

■ 研修風景

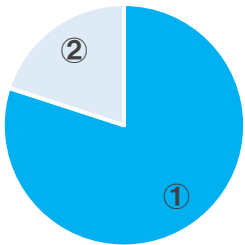
関係法令等 貞包健一氏		運転方法の講義 永田淳氏	
障害の知識及び利用者理解		福祉自動車運転方法(演習)	

■ 実施状況【セダン型】

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					
	12人	10人	10人	47.4才		1日	3時間
	6・6	83.3%					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか というと 満足できた	どちらとも いえない	あまり満足 できなかった	不満だった
	10件	満足 できたか?	8	2	0	0	0
	100.0%		80.0%	20.0%	—%	—%	—%



主な意見	■ 車イスを使った事例など、判りやすく良かった。
	■ 読んで想像するのと、実演の違いを感じる。実演の方が、色々な情報が感じられ周囲の気づかいにも目に届くようになる。少しの違いが体の不自由な方の負担増減になると感じた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ シルバーひまわりの登録者3名と市内の福祉有償の団体7名が受講した。
	■ 車イスの説明も丁寧で、実技を交えわかりやすかった。
	■ 普段使っている軽自動車だが、実技で、ドアの開閉の角度、助手席の乗り降りなどの説明があり、改めてどこに重心をかけているかなど認識できた。

■ 研修風景

講義		実技①	
実技②		修了証書授与式	

— 令和3年度 第3回 —

福祉有償運送運転協力者研修 実施要領

- 1 目的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市（国自旅第262号認定）
- 3 対象者** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去2年以内において停止されていない者であって、免許取得から3年以上の実車経験がある者
- 4 定員** 30人
※希望者が定員を超える場合は、市内福祉有償運送実施団体登録者の受講を優先します。
- 5 受講料** 市内福祉有償運送実施団体登録者（予定者）… 1,000円
上記以外の者 …… 7,000円
(研修日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。)
- 6 日程・内容** ※裏面の通り
- 7 申込方法** 別紙「受講申込書」により、令和4年1月12日(水)～2月9日(水)までに、郵送またはFAXにてお申込ください。
※受講の決定・研修詳細は、受付締切後郵送にてお知らせいたします。
- 8 事務局** 北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 研修課
北九州市社会福祉ボランティア大学校（担当：安達、松田）
〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた3F
TEL：093-881-6321 FAX：093-881-6306

①【福祉車両】

- (1) **日程・会場** 令和4年2月26日(土) 9:15~18:25
北九州市立玄海青年の家(若松区大字竹並126-2)
- (2) **受講対象者** 実施要領3の対象者のうち、第二種運転免許を有していない方

(3) 研修内容

時間	内容		講師	研修会場
9:15~9:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		第1 研修室
9:20~10:10	講義	関係法令等	北九州タクシー協会 副会長 貞包健一	
10:15~11:05		安全・安心運行と緊急時対応		
11:10~12:00		運転方法	ヘルパーステーション ほほえみ(永田 淳)	
12:00~12:50	休憩			
12:50~13:40	講義	障害の知識及び利用者理解	作業療法士 熊添潤一	
13:45~14:45		介護技術		
14:50~15:50		基礎的な接遇技術		
15:55~16:55	実技	福祉自動車の特性	ヘルパーステーション ほほえみ(派遣講師)	グラウン ド
17:00~18:20		福祉自動車運転方法(演習)		
18:20~18:25	閉会	まとめ		第1 研修室

②【セダン型】

- (1) **日程・会場** 令和4年2月27日(日) 9:15~11:45
ウエルとばた12H・I研修室(戸畑区汐井町1-6)
※駐車場(有料)の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- (2) **受講対象者** ①の福祉車両研修の修了者又は、第二種運転免許を有しているが、ヘルパーや介護福祉士の資格を有していない方。

(3) 研修内容

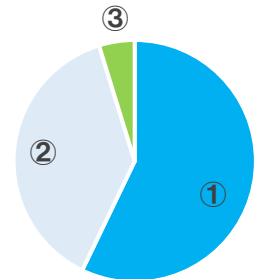
時間	内容		講師	研修会場
9:15~9:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		12H・I 研修室
9:20~10:10	講義	利用者理解及び乗降介助等の対応	作業療法士 熊添潤一	
10:20~11:40	実技	利用者理解及び乗降介助等の対応		
11:40~11:45	閉会	まとめ		12H・I 研修室

■ 実施状況【福祉車両】

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	22 人	22 人	22 人	47.7 才		1 日	10 時間
	12・12	79.2 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回数)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか というと 満足できた	どちらとも いえない	あまり満足 できなかった	不満だった
	22 件	満足 できたか?	12	8	1	0	0
	100.0 %		54.5 %	36.4 %	4.5 %	0 %	0 %



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事故の動画を見て、より予測しながらの運転を心がけようと思いました。 ■ 実際に杖を利用したり、視覚障がい者を誘導するなど、良い経験になった。 ■ 車イスで車移動の時、時速 10 km以下なのに、すごく横揺れした。一般道を走行する際、車間距離をかなりとった方が良かった
------	---

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ まん延防止等重点措置が発令されていたので、コロナ対策で消毒、マスク、手袋など徹底させ気をつけた。 ■ 目が見えない人の疑似体験、手すりや杖を使っての実技は体験してみることで、どのように介助すればよいかわかりやすいので参考になった。 ■ 駐車場の誘導や、受付などは混乱もなくスムーズにできた。
--------------------	---

■ 研修風景

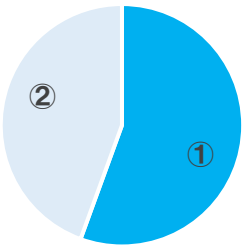
関係法令等 貞包 健一 氏		運転方法の講義 永田 淳氏	
障害の知識及び利用者理解		福祉自動車運転方法(演習)	

■ 実施状況【セダン型】

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	10人 6・6	9人 83.3%	9人	47.4才			

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか というと 満足できた	どちらとも いえない	あまり満足 できなかった	不満だった
	9件 100.0%	満足 できたか?	5 55.6%	4 44.4%	0 -	0 -	0 -



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ てこの原理や支店など、理由や根拠を説明しながらの講義で、理解しやすかった。 ■ シートの高さ、ヘッドレスがついているか、リクライニングがついているかを基準に考えるなど、学べてよかった。 ■ 実際にみることで、イメージがしやすかった。
------	--

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ シルバーひまわりの登録者1名と市内の福祉有償の団体8名が受講した。 ■ 身体の動き、重心移動、支持基底面の話など、介助する上でわかりやすかった。 ■ 福祉車両ではない車の座席の高さ、ドアの開閉角度など改めて認識し、体験型学習は、必要だと思った。
--------------------	--

■ 研修風景

講義		実技①	
実技②		修了証書授与式	

— 令和3年度 —

視覚に障害のある人へのボランティア 入門講座 実施要領

- 1 目的** 障害のある方の困り事に気づき、思いやりの心を声かけや行動にしてみたい。ボランティアで困り事を少しでも解消できるの？
本講座では、誰もが安心して暮らせる共生社会を目指して、障害のある方の心に寄り添い、支援について学ぶとともに、ボランティア活動に関心のある方には活動の窓口へつなげます。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** ウェルとばた 12H・I 研修室（戸畑区汐井町 1-6）
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対象者** 障害のある方へのボランティア活動に関心がある方（定員 30 名）
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料** 700 円（研修初日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。）
- 6 日程・内容** 令和3年10月30日（土）

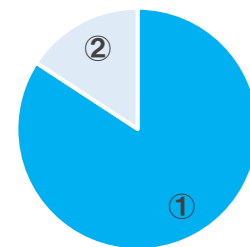
日時		内容	講師等
10月30日 (土)	9:30～	受付	
	10:00～	開講・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
	10:05～ 10:50	視覚に障害のある人の体験談 ～外出時の困りごとについて～	盲導犬ユーザー 新垣 栄子
	10:50～ 11:00	休憩	
	11:00～ 11:30	実践練習 声かけの仕方と配慮 簡単なガイドの仕方	北九州市立東部障害者福祉会館
	11:30～ 11:50	ボランティアグループ紹介 ～開催予定講座と活動の紹介～	北九州市障害福祉ボランティア協会 事務局長 竹田 英樹
	～11:50	閉講	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					
	25 人	19 人	19 人	61.0 才		延 1 日	延 2 週
	4・21	76.0 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回数)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか と言うと 満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	19 件	満足 できたか?	16	3	0	0	0
	100.0 %		84.2 %	15.8 %	0 %	0 %	0 %



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ 実際に視覚に困難がある方の体験談が聞けてよかったです。私には、まだまだ想像がつかない環境の中、様々な想いがある、今後自分にできること、みんなが過ごしやすい環境に近づけるよう、何か考えていきたいです。 ■ 実際に白杖を持つての実習には実感があり、有意義でした。 ■ ボランティアサークルの事がわかりました。
------	--

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 孤立防止・地域共生を障害分野でテーマを絞った新規講座で、わかりやすい講座名の工夫で問合せも多く、障害分野のボランティアに関心のある参加者を集められた。 ■ 盲導犬ユーザーの方からの体験談や、白杖を使っての実習、ボランティア紹介などの内容は参加者に強く関心を持って頂くことができ、次の東部障害者福祉会館が主催する「視覚に障害がある人の外出支援ボランティア講座」へ5人をつなぐ成果ができた。
--------------------	--

■ 研修風景

視覚に障害がある人の体験談		声掛けの仕方と配慮	
簡単なガイドの仕方		ガイドボランティアグループ紹介	

— 令和3年度 —

「腕自慢ボランティア」養成講座 実施要領

- 1 目的** 高齢者や障害のある方が自分で対応するのが難しい小さな困りごと、例えば家具の移動や電球交換、簡単な家屋内での修理などのボランティア活動について活動紹介を交えて学びます。
 みんなが自分にできることをできる範囲で行うことで、誰もが、いつまでも住み慣れた地域で暮らせるよう「お互い様」の地域づくりを目指して、新たな協力者の参加促進を目指して、ボランティアを養成していきます。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** 門司生涯学習センター2階 第1・第2研修室
 (門司区栄町3番7号)
 ※駐車場に限りがあるため、近隣の有料駐車場をご利用いただくか、公共交通機関でお越しください。
- 4 対象者** 受講後のボランティア活動に意欲的な方(定員30名)
 ※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料** 無料
- 6 日程・内容** 令和4年2月9日(水)

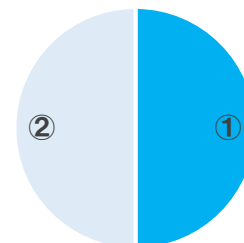
日時	内容	講師等
9:30~	受付	
10:00~	開講・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
10:10~ 10:50	・ボランティア活動について ・腕自慢おまかせサービスボランティアとは ～できることをできる範囲で～	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 活動推進課
10:50~ 11:00	休憩	
11:00~ 11:40	・先輩ボランティアからの活動紹介 例：網戸の張替えやインターホンの電池交換等 ・枝や古紙しばり等活動に役立つロープの結び方	腕自慢ボランティアの先輩 水上 裕正氏
11:40~ 12:00	・活動参加や研修について	北九州市社会福祉協議会
~12:00	閉講	

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					
	5人	4人	4人	59.2才		延1日	延2週
	2・3	80.0%					

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも言 えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	4件 100.0%	満足 できたか?	2 50.0%	2 50.0%	0 0%	0 0%	0 0%



主な意見	意見内容
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 内容が良かった。動画があればもっと良かった。 ■ 腕自慢の方は2人での活動がベストだと思う。1人作業では少しリスクがかかるのではと思うが、どうだろう。 ■ 社会福祉協議会、社会福祉事業団、シルバー人材センター等はどのような内容の違いがあるのか。名称がよく似ていて分からない。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	点検内容
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市政だよりを見ての応募者は3名で後2名は、門司区事務所からの呼びかけによる参加者であった。市民センター・門司消防署・門司警察署・門司区ボランティアグループ校区社協、HPでも広報を行ったが、申込にはつながらなかった。 ■ ハートフルスチールの会は八幡東区内のみということで参加はなかった。 ■ 4名中2名の方の登録検討につながった。

■ 研修風景

開会		「ボランティア活動について」	
「先輩ボランティアからの活動紹介」		「枝や古紙しほり等活動に役立つロープの結び方」	

— 令和3年度 —

「腕自慢ボランティア」養成講座 実施要領

- 1 目的** 高齢者や障害のある方が自分で対応するのが難しい小さな困りごと、例えば家具の移動や電球交換、簡単な家屋内での修理などのボランティア活動について活動紹介を交えて学びます。
 みんなが自分にできることをできる範囲で行うことで、誰もが、いつまでも住み慣れた地域で暮らせるよう「お互い様」の地域づくりを目指して、新たな協力者の参加促進を目指して、ボランティアを養成していきます。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** 吉川工業(株) 本社 6階 講堂（八幡東区尾倉二丁目1-2）
 ※駐車場有。
- 4 対象者** 受講後のボランティア活動に意欲的な方（定員30名）
 ※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料** 無料

6 日程・内容 令和3年7月31日（土）

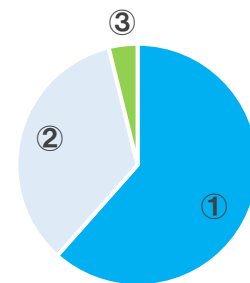
日時	内容	講師等	
7月31日 (土)	9:30~	受付	
	10:00~	開講・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
	10:10~ 10:50	・ボランティア活動について ・腕自慢おまかせサービスボランティアとは ～できることをできる範囲で～	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 活動推進課
	10:50~ 11:00	休憩	
	11:00~ 11:35	・先輩ボランティアからの活動紹介 ～網戸の張替え等簡単な家屋内修理や家具の移動等～	腕自慢ボランティアの先輩方 日本製鉄八幡ハートフルスチールの会 黒川 政彦 氏 九州製鉄所（八幡）係長会 黒岩 孝章 氏
	11:35~ 11:50	・活動参加や研修について	北九州市社会福祉協議会
	~12:00	閉講	

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)						
	30 人	26 人	26 人	44.0 才			延 1 日	延 2 日
	4・26	86.7 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか と言うと 満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	26 件	満足 できたか?	16	9	1	0	0
	100.0 %		61.5 %	34.6 %	3.9 %	0 %	0 %



主な意見	■ ボランティア活動等について改めて考えるきっかけとなった。
	■ 今まで楽しそうだからという理由で、町内会活動に参加していたが改めて「ボランティア活動の4原則」なるものを知り、勉強になった。「背伸びをしない範囲で参加」に納得した。
	■ 全体的な話を聞き、一度活動を行ってみたいと感じた。
	■ コロナ禍におけるボランティア活動の状況をもう少し詳しく知りたい。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市政だより・HP を見ての応募者は3名で後は、ハートフルスチールの会からの呼びかけによる参加者であった。代表者より日本製鉄の協力企業に働きかけていただいた結果、代表者の顔を立って研修に参加はしたが、登録に結び付いたのは企業1名・一般1名だった。 ■ 門司での開催時はボランティアグループへの呼びかけ等告知の強化を検討したい。
--------------------	---

■ 研修風景



— 令和3年度 —

災害ボランティア養成講座(若松) 実施要領

- 1 目的** 近年、各地で災害が頻発していますが、その復旧活動等において、大きな力となり、活躍しているのが災害ボランティアです。
 本講座では、災害時の基礎知識や適切な支援活動に活かすことを目的とし、身近なところで災害が起きた時の役割・備え・心構えについて学び、地域で協力し支え合うことについて考えます。
 また、講座中では、さまざまな災害ボランティア活動もご紹介します。そして、その中から自分にあった活動を見つけてもらい、いざという時の活躍の準備をお手伝いします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** 北九州市立玄海青年の家（若松区大字竹並126-2）
- 4 対象者** 災害ボランティアの活動や、災害時福祉救援体制づくりに興味・関心のある市民の方及び災害時相互協力協定締結団体の皆さま等々 【定員30名】
 ※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料** 無料
- 6 日程・内容** 令和3年11月23日（火）

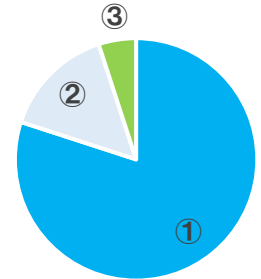
時間	内容	講師等
12:30~	受付	
13:00~	開会	若松区社会福祉協議会
	オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
13:10~ 14:10	災害ボランティア活動の基礎知識	一般社団法人 九州防災パートナーズ 代表理事 藤澤健児
~14:20	休憩	
14:20~ 15:50	被災の現状と活動 ~もしも若松区で災害が起こったら~	
~16:00	閉会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					
	26 人	20 人	20 人	48.7 才		延 1 日	延 3 日
	13・13	76.9 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回率)		全くその通り	どちらかというその通り	どちらとも言えない	どちらかと言うとそうでもない	全くそうでない
	20 件	満足 できたか?	16	3	1	0	0
	100.0 %		80.0 %	15.0 %	5 %	0 %	0 %



主な意見	意見内容
	<ul style="list-style-type: none"> 災害発生時における連絡方法や、ボランティアの役割等について、新たに確認できてよかったと思います。ボランティア活動は外部活動だけだと思っていたが、精神的なケア（心のケア）な大事なことに気づかされた。 行政との連携はかなり取れていると思うので、さらにNPOとの連携を築いていきたい

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	点検内容
	<ul style="list-style-type: none"> 若松区の校（地）区社協から15名、北九州市立大学ボランティアグループ11名の申込、計26名の申込があった。 災害ボランティアの活動について、基礎的な話があり、実際に災害が起きた時にどのように行動すればよいかなど、具体的な話があった。 学生は地域密着型のボランティアサークルで、若松区の行事、防災を意識した活動を地域に展開していきたいと意欲的だった。

■ 研修風景



— 令和3年度 —

「災害ボランティア」養成講座(八幡西) 実施要領

- 1 目的** 近年、各地で災害が頻発していますが、その復旧活動等において、大きな力となり、活躍しているのが災害ボランティアです。
 本講座では、災害時の基礎知識や適切な対処活動に活かすことを目的とし、身近なところで災害が起きた時の役割・備え・心構えについて学び、地域で協力し支え合うことについて考えます。
 また、講座中では、さまざまな災害ボランティア活動もご紹介します。そして、その中から自分にあった活動を見つけてもらい、いざという時の活躍の準備をお手伝いします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** コムシティ7階子どもホール (八幡西区黒崎三丁目15番3号)
- 4 対象者** 災害ボランティアに興味のある市民の方
 災害時福祉救援体制づくりに取り組む校(地)区社協活動者
 災害時相互協力協定締結団体の新会員の皆さま等々【定員30名】
 ※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料** 無料
- 6 日程・内容** 令和3年10月2日(土) 13:30~16:30

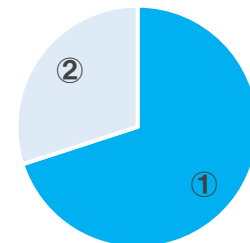
時間	内容	講師等
13:00~	受付	
13:30~	開会	北九州市社会福祉協議会 八幡西区事務所 (八幡西区社会福祉協議会)
	オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
13:40~ 14:30	災害ボランティアの基礎知識	一般社団法人 九州防災パートナーズ 代表理事 藤澤 健児
14:30~ 15:10	地域における被災者支援活動とは	
~15:20	休憩	
15:20~ 16:20	地域の困りごとをどのように 解決するか考えよう【講義・演習】	
~16:30	閉会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 修 等 日 数	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					
	27 人	26 人	26 人	51 才		1 日	3 日
	13・14	96.3 %					

■ アンケート結果

全体評価	回 答 (回率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全くその通り	どちらか いっと その通り	どちらとも 言えない	どちらかと言うと その通り	全く その通り
	21 件 80.8 %	満足 できたか?	10 47.6 %	11 52.4 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %



主な意見	■ 災害ボランティアについて知らなかったもので、今回具体的にどんな仕事をするのかしることができたのは、とてもありがたかったです。
	■ 地域に寄り添った活動を考え、頑張ってみたいと思いました。
	■ コロナ禍における災害ボランティア活動の問題点など興味深い内容でした。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 災害ボランティア登録者と八幡西区の校（地）区社協からの応募で計26名の参加者があった。
	■ 災害ボランティアセンターのコロナ禍での従来の対応との相違など説明があった。
	■ 講師の話しの途中で質問があり、マイクの使いまわしがあったので、コロナ感染拡大防止の視点から、今後気をつけたいと思った。

■ 研修風景

開催挨拶 (久留置事務所長)		研修の様子①	
研修の様子②	<p>災害時のボランティアの取り組みは多種、多様</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 泥出し、片付け作業 ■ 炊き出し ■ 物資支援 ■ 遺留品洗浄 ■ 避難所支援 ■ 要援護者のサポート ■ 入浴支援 ■ 病院送迎・移動支援 ■ 引越し手伝い ■ 就労支援 ■ 心のケア ■ 元気づけ行事 ■ 何でも相談、話し相手、寄添い支援 ■ 買い物代行 ■ 通訳、翻訳、点訳、手話 ■ 申請手続き支援 ■ わかりやすい情報提供 ■ 学習支援、子どものサポート、託児・学童保育や児童館支援 ■ 洗濯支援(ふとんや衣類) ■ ダニ駆除 ■ 消臭 ■ 機材提供 ■ サロン、場の提供 ■ 個別のニーズ対応(アトピー、糖尿病、しょうがい) ■ 大工ボランティア ■ ペットの世話 	八幡西区からお知らせ (藤永理事)	

— 令和3年度 —

傾聴ボランティア・フォローアップ研修 開催要領

- 1 目的** 傾聴ボランティア養成講座修了者および活動者経験者のスキルアップを図るとともに、活動者同士の情報交換や交流により、さらに充実したボランティア活動ができるようにフォローします。
 今年の講座では、With コロナ時代の活動の可能性を見出すために不可欠な ICT（情報通信技術）の活用を（スマホを例にして）学び、施設担当者とのコミュニケーションなどを通じて、モチベーションアップを図ります。また、活動者同士の交流を通じて今後のボランティア活動の活性化を目指します。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** ウェルとばた 12H・I 研修室（北九州市戸畑区汐井町 1-6）
 ※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対象者** 地域で傾聴ボランティアとして活動している方
- 5 受講料** 700 円（研修日にお渡しする納付書により、後日、金融機関でお支払い下さい。）
- 6 日程・内容** 令和3年4月22日（木）

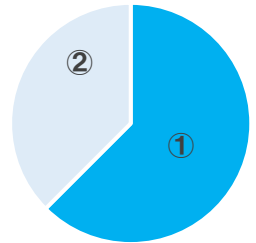
時間	内容	講師等
13:30~	受付	
14:00~14:10	開会 オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
14:10~15:10	「スマホでご挨拶！コミュニケーション～ZOOM 初体験～」	パソコン講師 景山 真由美
15:10~15:20	休憩	
15:20~15:50	「施設のボランティア受入の現状と今後について～」	北九州シティホーム 施設長 曾我 満美
15:50~16:00	今後の活動の展望などについて	北九州市社会福祉協議会
~16:10	閉会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	18 人 3・15	8 人 44.4 %	8 人	— 才			1 日	2 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			非常に 有意義だ	どちらか という 有意義だ	どちらとも いえない	あまり参考 にならない	全く 参考にならない
	8 件 100 %	満足 できたか?	5 62.5 %	3 37.5 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %



主な意見	■ ZOOMのしくみを知る事が出来て良かった。今だからこそ、使うことが出来たら良いと思った。
	■ うまく理解できないところもあったが、参考になった。時間が短かったので、もう一度家で見直して活用したい。思ったより、「出来るかも」と思った。
	■ 施設の現状を聞くことが出来て良かった。ボランティアの大切さを再認識した。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 新型コロナウイルス感染症予防のため、座席の感覚を空け、スタッフはフェイスシールド等を、徹底して行った。現在活動停止中の傾聴ボランティアさんにとって、ZOOMやボランティア受入の現状と見通しの情報提供は満足の声が多く、有意義な研修になったと思う。
	■ 今後も、内容別のボランティア活動者のニーズを捉え、実践に結びつく研修を行いたい。

■ 研修風景

コミュニケーション・講義 スマホで挨拶！		ZOOM初体験・ワーク	
施設のボランティア受入の現状と今後について・講義		今後の活動の展望などについて	

— 令和3年度 —
ボランティアリーダー研修

ボランティアグループ研修 実施要領

～持続してグループ活動できる運営とは～

- 1 目的** With コロナ時代において現在の状況を把握し、ボランティアグループ運営に必要な知識、これからの活動に役立つコミュニケーション術など、グループの継続について必要なことを学ぶ研修です。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** ウェルとばた 12H・I 研修室（戸畑区汐井町 1-6）
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対象者** ボランティアグループのリーダーや役員及び
ボランティアグループで活動されている方【定員 30 名】
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料** 700 円（研修日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。）
- 6 日時・内容** 令和3年10月22日（金）

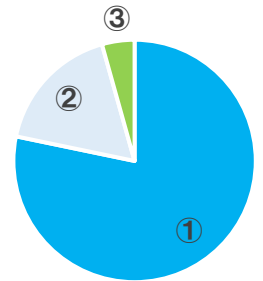
時間	内容	講師等
13:00 ～	受付	
13:30 ～	開会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
13:40 ～ 14:20	グループ運営とは ～With コロナ時代の活動のあり方～	ボランティア・市民活動センター 活動推進課
14:25 ～ 15:55	言葉と声で、心と体が喜ぶ！ ほめボイスコミュニケーション	キャリアコンサルタント ボイスエアー 代表 藤重 知子
～ 16:00	閉会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 修 日 数	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					
	25 人	24 人	24 人	63.6 才			
	6・19	96.0 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回数)	研修全体 について 満足できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも言 えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	23 件	満足 できたか?	18	4	1	0	0
	95.8 %		78.3 %	17.4 %	4.3 %	0 %	0 %



主な意見	■ ボランティアの4原則を再確認しました。
	■ ドラッカーをたとえて出してわかりやすく勉強にもなった。
	■ コロナ禍の中でコミュニケーションの取り方をたくさん学ばせていただきました。
	■ 「口角を上げて笑顔で」とわかっていても、なかなかできなかった。今日は「コツ」を教えて頂き、実践できるように日々気をつけて練習したいと思った。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ グループ運営の講義は、ボランティア4原則や、コロナ禍における介護ボランティア事業活動調査の結果などの状況を話した。ボランティアの事や、現在の状況がわかりやすく伝わったと思う。
	■ マスク生活でのコミュニケーションの手法など、講義、実技を交えながら楽しく学ことができ、ボランティアへのモチベーションアップにつながった。

■ 研修風景

グループ運営とは①		グループ運営とは②	
ほめボイスコミュニケーション①		ほめボイスコミュニケーション②	

— 令和3年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 目的** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
- 昨今では、この見守り・話し合い・助け合いの3つの仕組みを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組み、地域社会に必要な福祉活動となっています。
- 今回の研修では、地域で困りごとに気づく力を高め、地域が『丸ごと』つながり、助け合うことで、地域共生社会をめざして活動の推進を図ることを目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 門司区内の福祉協力員等
- 4 研修会場** 門司生涯学習センター 3階 第1、2会議室（門司区栄町3-7）
- 5 参加費** 無料
- 6 日時・内容** 令和3年11月25日（木）

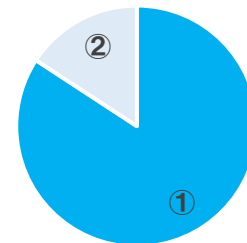
時間	内容	講師等
13:00～	受付	
13:30～	開会	門司区社会福祉協議会 運営委員会 会長 進 森太郎
13:35～ 15:20	講話「気づく力を高めよう！ ～地域が『丸ごと』つながり互いに助け合う、 地域共生社会を目指して～	九州大谷短期大学 福祉学科 学科長/教授 中村 秀一
15:20～ 15:30	まとめ・閉会	門司区社会福祉協議会 事務所長 宇都宮 慎吾

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	27 人	26 人	26 人	— 才			1 日	2 時間
	3・24	96.3 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	どちらかと言 うと不満足だった	不満足だった
	26 件 100.0 %	満足 できたか?	25 96.2 %	1 3.8 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %



主な意見	■ 地域支援の大切さがよくわかりました。
	■ 自分の生活体験をふまえての講話、大変有意義であったと思います。共助、自助互助の大切さ、みなで協力支援していこうと思いました。
	■ 福祉協力員として、老人ばかりでなく、色々な方への声掛けが必要と感じました。
	■ 本当にあっという間に時間がたちました。仕組みづくりを校区で考えている所だったので、とても参考になりました。「受援力」を高めていけたらと思います。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 中村先生の熱意ある講義がわかりやすく、参加者からも好評だった。
	■ グループワークはなかったが、福祉の大切さが十分伝わった内容だった。
	■ これからの活動に生かしていきたいとの意見や、福祉協力員としての心がまえ等、理解できたとの声が多数あった。

■ 研修風景

開会挨拶		講話	
講話		閉会挨拶	

— 令和3年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 目的** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
- 昨今では、この見守り・話し合い・助け合いの3つの仕組みを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組み、地域社会に必要な福祉活動となっています。
- 今回の研修では、地域で困りごとに気づく力を高め、地域が『丸ごと』つながり、助け合うことで、地域共生社会をめざして活動の推進を図ることを目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 小倉北区内の福祉協力員等
- 4 研修会場** 北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」5階大セミナールーム（小倉北区大手町11番4号）
- 5 参加費** 無 料
- 6 日時・内容** 令和3年12月2日（木）

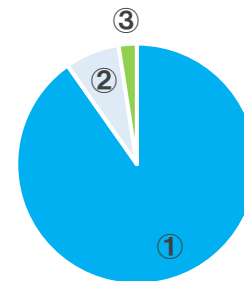
時 間	内 容	講 師 等
13:00～	受 付	
13:30～	開 会	小倉北区社会福祉協議会 事務所長 島田 直樹
13:35～ 15:20	講 話 「気づく力を高めよう！～地域が『丸ごと』つながり互いに助け合う、地域共生社会を目指して～」（途中、休憩をはさみます）	九州大谷短期大学 福祉学科 学科長/教授 中村 秀一
15:20～ 15:30	閉 会	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 課長 松田 一喜

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	44 人	43 人	43 人	— 才			1 日	2 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	どちらかと言 うと不満足だった	不満足だった
	42 件 97.7 %	満足 できたか?	37 88.1 %	3 7.1 %	1 2.4 %	0 0 %	0 0 %



主な意見	■ つながり、気づいてくれる人たちがいることが孤立を防止する等、福祉協力員の活動のしくみ作りをわかりやすく参加者と一緒になって説明し、確認していたことも良かった。
	■ 福祉協力員とは何ぞやという事を基本的に学ぶ事ができた。ありがとう。
	■ 非常に楽しい研修だった。わかりやすく良かった。
	■ 民生委員や自治会役員の高齢化についての問題を提議していると思う。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 講義内容は参加者全員に好評だった。
	■ 支援する側、される側に分けることなく、お互い出来る事で支え合う地域共生社会のあり方を実例をあげてわかりやすく説明され、参加者も自然に受入て理解が進むテーマをよくこなした研修だった。

■ 研修風景



— 令和3年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 目的** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
- 昨今では、この見守り・話し合い・助け合いの3つの仕組みを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組み、地域社会に必要な福祉活動となっています。
- 今回の研修では、地域で困りごとに気づく力を高め、地域が『丸ごと』つながり、助け合うことで、地域共生社会をめざして活動の推進を図ることを目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 小倉南区内の福祉協力員等
- 4 研修会場** 小倉南生涯学習センター4階 大ホール（小倉南区若園5-1-5）
- 5 参加費** 無 料
- 6 日時・内容** 令和3年12月11日（土）

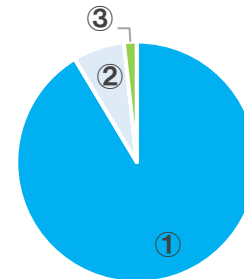
時 間	内 容	講 師 等
13:00～	受 付	
13:30～	開 会	小倉南区社会福祉協議会 会長 築別 邦博
13:35～ 15:20	講 話 「気づく力を高めよう！～地域が『丸ごと』つながり互いに助け合う、地域共生社会を目指して～」（途中、休憩をはさみます）	九州大谷短期大学 福祉学 学科長/教授 中村 秀一
15:20～ 15:30	閉 会	小倉南区社会福祉協議会 事務所長 米原 徹二

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	62 人	62 人	62 人	— 才			1 日	2 時間
	20・42	100 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも言 えない	どちらかと言 うと不満だった	不満だった
	60 件 96.8 %	満足 できたか?	53 88.3 %	4 6.7 %	1 1.7 %	0 0 %	0 0 %



主な意見	■ 中村先生の熱弁を聞き、胸が熱くなりました。今日から隣、またその隣と、声をかけあう間柄を作って、お互い守り合う人に。
	■ 中村秀一先生のまるで劇場的な舞台演目「気づく力」の探し方、要点を分かりやすく教えて頂きありがとうございました。
	■ 地域で見守っていく事の大切さが分かりました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 中村先生の熱弁による講話により、参加者は話に引き込まれ会場が一体となっていた。「気づく力」の大切さ、人と人とのつながりの大切さが十分伝わった講話だった。これからの活動に自信をもって行えるよう、福祉協力員にとって励みとなった。今後の活動に向けて研修を続けていくことが必要である。
--------------------	--

■ 研修風景



— 令和3年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 目的** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
- 昨今では、この見守り・話し合い・助け合いの3つの仕組みを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組み、地域社会に必要な福祉活動となっています。
- 今回の研修では、地域で困りごとに気づく力を高め、地域が『丸ごと』つながり、助け合うことで、地域共生社会をめざして活動の推進を図ることを目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 若松区内の福祉協力員等
- 4 研修会場** ウェルとばた 3階 大ホール（戸畑区汐井町1-6）
- 5 参加費** 無料
- 6 日時・内容** 令和4年2月10日（木）

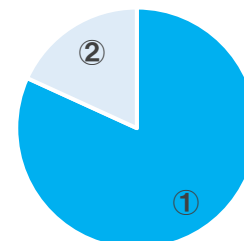
時 間	内 容	講 師 等
13:00~	受 付	
13:30~	開 会	北九州市社会福祉協議会 若松区事務所 事務所長 木下 義憲
13:35~ 15:20	講 話 「気づく力を高めよう！～地域が『丸ごと』つながり互いに助け合う、地域共生社会を目指して～」（途中、休憩をはさみます）	九州大谷短期大学 福祉学科学科長/教授 中村 秀一
15:20~ 15:30	まとめ・閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	36 人	33 人	33 人	— 才		1 日	2 時間
	8・28	100 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	どちらかと言 うと不満足だった	不満足だった
	33 件	満足 できたか?	27	6	0	0	0
	100.0 %		81.8 %	18.2 %	0 %	0 %	0 %



主な意見	■ 先生の思いがこもった力強いお話をいただき、とても良かったと思います。地区のたくさんの協力員や地域活動者にも聞いていただければ・・・と思いました。
	■ ユーモアがあり、とても分かりやすい話だ
	■ 「その人の生き方を見る」という言葉が印象的でした。気づく力の大切さ。
	■ 分かりやすく福祉協力員を続けようと思いました。
	■ 先生の体験を交えた講義は心に響きました。ありがとうございました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 講義は好評であった。特に、先生の体験を交えた講義は心に響き、また分かりやすく楽しいお話で参考になったようだ。生活状況からの発見、行政につなぐ支援対策について福祉協力員の重要性や見守りが大事だということを学んだ。
	■ 研修を続けることで、福祉協力員のモチベーションアップにも繋がると思う。

■ 研修風景



— 令和3年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 目的** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
- 昨今では、見守り・話し合い・助け合いの3つの仕組みを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組み、地域社会に必要な福祉活動となっています。
- 今回の研修では、地域で困りごとに気づく力を高め、地域が『丸ごと』つながり、助け合うことで、地域共生社会をめざして活動の推進を図ることを目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 八幡東区内の福祉協力員等
- 4 研修会場** 八幡東区社会福祉センター 3階 研修室（八幡東区西丸山町2-1）
- 5 参加費** 無料
- 6 日時・内容** 令和4年1月13日（木）

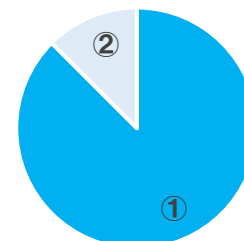
時間	内容	講師等
13:00～	受付	
13:30～	開会	北九州市社会福祉協議会 八幡東区社会福祉協議会 (八幡東区事務所)
13:35～ 15:20	講話 「気づく力を高めよう！～地域が『丸ごと』つながり互いに助け合う、地域共生社会を目指して～」(途中、休憩をはさみます)	九州大谷短期大学 福祉学科学科長/教授 中村 秀一
15:20～ 15:30	閉会	八幡東区社会福祉協議会 (八幡東区事務所) 事務所長 本村 哲也

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	9人 7・1	8人 88.9%	8人	—才		1日	2時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	どちらかと言 うと不満足だった	不満足だった
	8件 100.0%	満足 できたか?	7 87.5%	1 12.5%	0 0%	0 0%	0 0%



主な意見	■ 自助・互助の大切さ。生命力とは未来を信じる力ということを教えていただき、ありがとう。
	■ とても勉強になった。
	■ 死に方じゃなく、どう生きたか？プチボ、ちょっとだけボランティア等有意義だった。
	■ 先生のご説明が迫力あり、細かな所まで拝聴できた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 講義内容は好評だったが、5年間同一講師のため重複受講者が増えてきた。
	■ 今回、講師のスケジュールの空きが11月以降の限られた日程であったこともあり、区事務所との調整が難航した。講師の変更時期を2年延長してきたことと併せ、昨年度から懸案の講師変更の検討材料となった。

■ 研修風景



— 令和3年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 目的** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
- 昨今では、この見守り・話し合い・助け合いの3つの仕組みを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組み、地域社会に必要な福祉活動となっています。
- 今回の研修では、地域で困りごとに気づく力を高め、地域が『丸ごと』つながり、助け合うことで、地域共生社会をめざして活動の推進を図ることを目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 八幡西区内の福祉協力員等
- 4 研修会場** コムシティ5階 八幡西区役所 509会議室
(八幡西区黒崎三丁目15-3 コムシティ5階)
- 5 参加費** 無料
- 6 日時・内容** 令和3年12月16日(木)

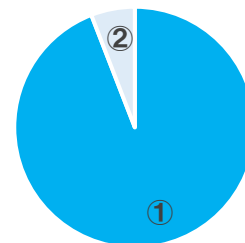
時間	内容	講師等
13:00~	受付	
13:30~	開会	八幡西区社会福祉協議会 会長 奥尾 一雄
13:35~ 15:20	講話 「気づく力を高めよう！～地域が『丸ごと』つながり互いに助け合う、地域共生社会を目指して～」(途中、休憩をはさみます)	九州大谷短期大学 福祉学科 学科長/教授 中村 秀一
15:20~ 15:30	閉会	八幡西区社会福祉協議会 事務所長 久留島 一暢

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	18 人	18 人	18 人	— 才			1 日	2 時間
	8・10	100.0 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	どちらかと言 うと不満足だった	不満足だった
	17 件 94.4 %	満足 できたか?	16 94.1 %	1 5.9 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ 36年の障害福祉サービスと1年の認知症の方の支援をしてきたが、福祉とは何なのか？と考え続けてきた。定年前に福祉は人だと結論づけたが、今日の研修で中村先生が言われた「安心」「人」にととても勇気づけられ、3Kと言われていた介護の現場職員にも伝えたいと思う。 ■ 福祉協力員としての活動スタンスがより理解できた。 ■ 地域の福祉についてはとてもよかったと思う。
------	---

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 講義内容は参加者全員に好評だった。 ■ アンテナを張って、ちょっと気にしよう。地域住民の思いに気づこう！は有意義だったという意見からも、困りごとに気づく力や地域共生社会の必要性に対する住民自身の気づきを促す研修だったと思う。
--------------------	---

■ 研修風景

開会挨拶		講話	
講話		閉会挨拶	

— 令和3年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

1 目的 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。

昨今では、この見守り・話し合い・助け合いの3つの仕組みを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組み、地域社会に必要な福祉活動となっています。

今回の研修では、地域で困りごとに気づく力を高め、地域が『丸ごと』つながり、助け合うことで、地域共生社会をめざして活動の推進を図ることを目的とします。

2 実施主体 北九州市社会福祉協議会・北九州市

3 受講対象 戸畑区内の福祉協力員等

4 研修会場 ウェルとばた 12HI 研修室（戸畑区汐井町 1-6）

5 参加費 無 料

6 日時・内容 令和3年11月11日（木）

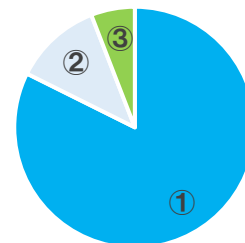
時 間	内 容	講 師 等
13:00～	受 付	
13:30～	開 会	北九州市社会福祉協議会 戸畑区社会福祉協議会 会長 福田 泰治
13:35～ 15:20	講話「気づく力を高めよう！ ～地域が『丸ごと』つながり互いに助け合う、 地域共生社会を目指して～	九州大谷短期大学 福祉学科 学科長/教授 中村 秀一
15:20～ 15:30	まとめ・閉 会	北九州市社会福祉協議会 戸畑区社会福祉協議会 事務所長 川原 正明

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	17 人	17 人	17 人	— 才			1 日	2 時間
	5・15	100.0 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	どちらかと言 うと不満足だった	不満足だった
	17 件 100.0 %	満足 できたか?	14 82.4 %	2 11.8 %	1 5.8 %	0 0 %	0 0 %



主な意見	■ 地域での活動を行う中で、多様な課題に対する取り組み方に考えさせられ、参考になりました。今後の活動に生かしたいと思った
	■ 地域のつながりを強くしていこうと思う。見守り、助け合い、話し合いを強くする。助け上手、助けられ上手にならないといけないと思う。
	■ 福祉協力員としての自覚を再確認することが出来ました。頑張っていきたいです
	■ 良い資料なので、家でじっくり読みたいです。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 講義内容は好評だった。
	■ グループワークは無かったが、最後まで熱心にうなずきながら話を聞く姿が多数見られた。
	■ わかりやすく福祉の事が伝わり、福祉協力員のやる気を促す研修だったと思う。

■ 研修風景



— 令和3年度 —

地域福祉活動専門研修 実施要領

～ わがまちのふくしのまちづくり中長期計画策定に向けて ～

- 1 目的** 私たちのまち北九州市では、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を目指し、小地域における福祉活動の要「校(地)区社会福祉協議会」が中心となり、地域の福祉課題に対応できるよう「ふれあいネットワーク活動」に取り組んでいます。
この活動の指針となる「北九州市地域福祉活動第六次計画」を推進するうえで、校(地)区社協が策定する「小地域福祉活動計画」は、大変重要な役割を担います。
本研修では、計画づくりの意義と必要性等の理解を深めるとともに、校(地)区社協の計画策定が実現することを願い、開催するものです。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** ウェルとばた3階中ホール（戸畑区汐井町1-6）
- 4 対象者** 校(地)区社会福祉協議会の事務局長、ふれあいネットワーク活動部長、福祉協力員、民生委員・児童委員など【定員80名】
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 5 受講料** 無料
- 6 日程・内容** 令和3年11月12日（金）
テーマ：小地域福祉活動計画づくりの意義と必要性を学ぶ
※本研修は、令和4年度に第一次計画並びに第二次計画の策定に取り組む校(地)区社会福祉協議会の皆様に、計画づくりの意義と校(地)区社協にとっての成果を学んでいただきます。

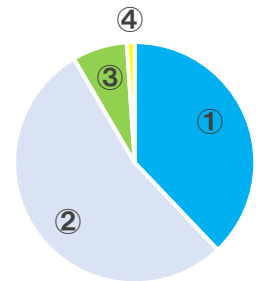
時間	プログラム	講師等
13:00 ～13:10	開 講	北九州市社会福祉協議会 事務局長 礪 田 佳 宏
	オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
13:10 ～14:20	こんな成果があがった～事例に学ぶ ふくしのまちづくり中長期計画策定 ～ 事 例 発 表 ～	コーディネーター 福岡県立大学 人間社会学部 社会福祉学科 教 授 村 山 浩 一 郎
	◆発表 ① 計画づくりで深まった地域の絆	小倉北区 到津校区社会福祉協議会 副会長 村 上 嗣 英
	◆発表 ② 計画で生まれた人とのつながり	小倉南区 東谷地区社会福祉協議会 会 長 延 吉 和 典
	パネルディスカッション	
～14:30	休 憩	
14:30 ～15:20	講 義 小地域福祉活動計画をすすめるにあたっての 今後の方向性	福岡県立大学 人間社会学部 社会福祉学科 教 授 村 山 浩 一 郎
～15:30	閉 講	北九州市ボランティア大学校 校 長 久 塚 潤 一

■ 実施状況

参加者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					
	118 人	118 人	118 人	— 才		1 日	3 日
	62・56	94.3 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全くその通り	どちらかとい うとその通り	どちらとも いえない	どちらか言っ てもその通り	全くそのでない
	96 件	満足 できたか?	36	51	7	1	0
	81.4 %		37.5 %	53.1 %	7.3 %	1.0 %	0 %



主な意見	■ 事例発表はとてもよかった。小地域での計画。その地域の社会資源は有効に活用すること。目的明確にするために、今までの活動を整理し、話し合いを共有する環境の必要性も感じました。ありがとうございました。
	■ 取り組み、目的、問題点などについて大変参考になりました。
	■ 小地域福祉活動計画の必要性について、学ぶことができ、地域に帰って、今日の学びをどんなふう活かしていくか、社協の方々と話し合っていきたいと思いました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、消毒を徹底し密にならない様につけた
	■ 事例発表は、具体的で参考になったとの声も多く、計画づくりや小地域福祉活動の意義や重要性も伝わったのではないかと感じた。
	■ 開催時間は、昨年比で講師の講義時間が短くなったが、昨年同様好評だった。
	■ 質問を1問のみとお願いしたが、短いとの声があったので、来年は検討したい。

■ 研修風景

開会の挨拶		村山先生の講義	
質疑応答		社協職員からの挨拶	

令和3年度 地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」実施要領

テーマ 「地域共生社会の実現に向けた小地域福祉活動のあり方について考える」 動画配信

- 1 目的** 私たちのまち北九州市では、校(地)区社会福祉協議会において、「ふれあいネットワーク活動」を中心に、住民がお互いを見守り、支え合い、孤立しがちな人々とのつながりを強め、生活課題の発見や解決を支援していく取り組みを進めているところです。
本セミナーは、こうした活動を進める小地域福祉活動のリーダーを担う方を対象に、社会・経済情勢の変化を見据え、これからの社会福祉の大きな流れをつかみ、今後の地域福祉活動の指標にさせていただくことを目的としています。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 研修形式** 撮影動画をホームページに掲載
- 4 対象者** 校(地)区社協 正・副会長、小地域福祉活動においてリーダー的役割を担う方
- 5 受講料** 無料
- 6 日程・内容** 令和4年3月中旬より配信

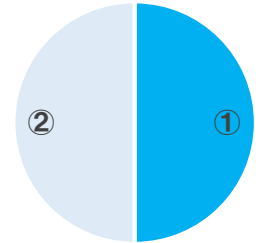
時間	内 容	講 師 等
10分	開会挨拶・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会 会長 垣 迫 裕 俊
100分	講 義 「地域共生社会の実現に向け、 私たちが担う役割と今後の 小地域福祉活動について」 (途中休憩 10分を含む)	東京都立大学 人文社会学部 人間社会学科 社会福祉学教室 准教授 室 田 信 一

■ 実施状況

受講者	申込者数	再生回数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)					延	延
	84 人	108 人	— 人	— 才		1 日	2 時間
	—・—	— %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	① 非常に 有意義だ	② どちらか 言うと 有意義だ	③ どちらとも 言えない	④ あまり参考 にならない	⑤ 全く参考 にならない
	14 件	満足 できたか?	7	7	0	0	0
	—・— %		50.0 %	50.0 %	0 %	0 %	0 %



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ コロナ禍に於いてのセミナー研修のWEBでの受講は、地域社協関係者が多く企画出来、今後の活動に大変役立つ内容であり、今後も継続して企画して下さい。 ■ 若い世代の方々が、このような勉強をすればもっと福祉活動に対する意識の底上げが出来るのではないかと思います。 ■ 他地域の取組み状況など、大変理解出来ました
------	--

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初大ホールで開催する予定だったが、録画動画に切り替えてホームページから配信した。 ■ WEBでの受講は、時間の都合が付きやすい反面、90分の講演時間は長いとの意見もあり、今後の課題となった。 ■ 地域共生社会と小地域福祉活動についてとてもわかりやすい講演だった。
--------------------	---

■ 研修風景

開催挨拶 会長 垣迫 裕俊		東京都立大学 准教授 室田 信一氏	
講義の様子		研修資料	

— 令和3年度 —

校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修 実施要領 (動画配信)

- 1 目 的** 私たちのまち北九州市では、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」のために、校(地)区社会福祉協議会が中心となり、地域住民主体の小地域福祉活動を展開しています。
今回の研修では、新しく校(地)区社会福祉協議会の役員に就任された方々に、社協活動の基本を確認していただくとともに、リーダーとして校(地)区社会福祉協議会をどのように運営していくのか、市・区社会福祉協議会と一緒に考えていきます。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 研修形式** 撮影動画をホームページへ掲載
- 4 対象者** 新たに校(地)区社会福祉協議会役員に就任された方
(新任の会長・副会長・ふれあいネットワーク部会長等)
- 5 受講料** 無料
- 6 日程・内容** 令和3年8月31日(火)

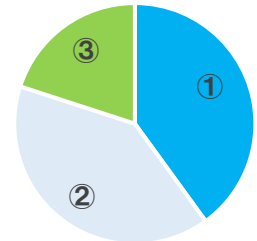
時間	内 容	講 師 等
20分	講 義 「小地域福祉活動の意義と校(地)区社協運営について」	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 部 長 杉 本 真 奈 美
50分	事例紹介 事例で学ぶ「校(地)区社協の運営」	コーディネーター 北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 部 長 杉 本 真 奈 美
	事例Ⅰ 「連絡調整会議を中心とした組織運営」	八幡東区大蔵第一地区社会福祉協議会 会 長 梅 本 治 孝
	事例Ⅱ 「校区社協の地域活動について」	若松区古前校区社会福祉協議会 会 長 結 城 章 生
90分	講 義 「地域の関係団体との連携・協働」	九州大谷短期大学 福祉学科 教 授 中 村 秀 一

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	79 人	— 人	— 人	— 才			1 日	3 時間
	—	— %						

■ アンケート結果 ※オンデマンド視聴の為、正確な受講者はつかめていない

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全くその通り	どちらか という その通り	どちらも 言えない	どちらか 言うと そうでもない	全く そうでない
	17 件 21.5 %	満足 できたか?	7 41.1 %	7 41.1 %	3 17.6 %	0 0%	0 0%



主な意見	■ 改めて福祉活動の原点について見直すことが出来た。
	■ 人と人が支え合う、共に生きる社会では地域社会のニーズによって課題を解決していく為に地域に関わる多様な団体を協働し連携していくことが大事である。
	■ 社会福祉協議会の活動が分かった。第3部は特に分かりやすかった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、集合形式の研修を取りやめ、今回初めての試みで、ホームページでの動画配信で行った。申込者の視聴状況や、アンケート回収方法については、今後の課題である。
	■ 今後も社協のビジョンの情報を、今回のようにネットを通じタイムリーに情報提供してほしいとの要望があった。

■ 研修風景

動画録画の様子		小地域福祉活動の意義と校（地）区社協運営について	
	事例紹介・ディスカッション		

— 令和3年度 —

まちづくりゼミナール 実施要領（日程変更）

1 目的 「まちづくりゼミナール」は、主に、地域で活躍する指導者を支援するため、ゼミナール形式により、地域づくりのための情報交換・討論等を行いながら、地域コミュニティの再生に取り組む研修会です。

今回は、「まちづくりとは何か」を、もう一度考え直してみたいと思います。

まず、各自ができることを考える中で、まちづくりを身近なものに感じていただき、この講座を通して、社会情勢の大きな変化に対応しながら、持続的に進めていくことのできるまちづくりとは何かを考えます。

2 実施主体 北九州市社会福祉協議会・北九州市

3 会場 ウェルとばた12階H・I研修室（戸畑区汐井町1-6）
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

4 対象者 校(地)区社協・地区民児協・まちづくり協議会の役員、市民センター館長等 30名

※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。

5 受講料 無料

6 テーマ 「このまちで『永く楽しく』住み続けていくために
～持続性のあるまちづくりとは何かを考える」

7 日程・内容 令和3年10月14日（木）、11月18日（木）、12月9日（木）
いずれも10:00～12:00

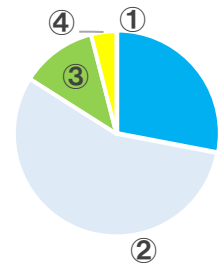
日程	内容	講師
一 目 10月14日 (木)	進行 北九州市社会福祉ボランティア大学校 校長 久塚 純一 ■そもそもまちづくりとは何？	公立大学法人北九州市立大学 地域共生教育センター 特任教員 勅使河原 航
二 目 11月18日 (木)	■グループや団体などが参加・主催するまちづくり	
三 目 12月9日 (木)	■複雑化する今後の社会情勢に対応した持続性のあるまちづくりとは	

■ 実施状況

参加者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	36 人	34 人	86 人	69 才		3 日	6 日
	25・11	94.4 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
	(回答)		満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも言 えない	あまり満足できな かった	不満だった
	25 件 92.6 %		7 28.0%	14 56.0 %	3 12.0%	1 4.0%	0 0 %



主な意見	■ 課題の幅の広さを改めて学ぶことが出来ました。地域に「何が問題となっているのか」考える材料となる研修だった。
	■ ヤングケアラーの存在や高校での居場所づくりのような活動を初めて知った。
	■ 「どのようにして次を担う人を見つければ良いのか」のゼミナールをしてほしい。
	■ ディスカッションがあれば、小グループをいくつか作って、話し合う場を設定して頂きたい。一人一人の意見交換や内容も深まるのではと思う。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 地域の連携を深め、協力をし地域のつながりを作っていくにあたって、今ある問題を解消していくことが課題であると感じた。研修を継続することで、問題点への気づきや他地区との意見交換・情報共有などにより活動の取組み方の参考になっていく。
	■ 今後は若い世代とのつながりや後継者育成など課題に取り組み、まちづくりという持続的な活動を支援する為、このような研修を継続していきたい。

■ 研修風景

「地域づくりの推進」		グループや団体を 参加・主催の場	
「複雑化する今後の社会情勢」 に 対応 する ための 研修		まとめ	

令和3年度 企業の社会貢献活動セミナー 実施要領

災害が起きたとき、企業にできることは何か

災害を通して地域社会に貢献する企業の取り組みについて考える

1 目 的 本セミナーでは、様々な企業の社会貢献活動の中、企業にとって最も関心の高い分野の一つである、災害に関する取り組みについて、事例報告も交え、地域との関係づくりや他団体との連携、企業の資源の活用方法について考えていくことを目的とします。

2 実施主体 北九州市社会福祉協議会・北九州市

3 受講対象 各企業の社会貢献活動担当者及び活動者(定員 30 名)

ZOOM の操作確認が各自事前にできる方

※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。

4 研修形式 ZOOM を使用したオンラインセミナー

5 日程・内容 令和4年1月20日(木)

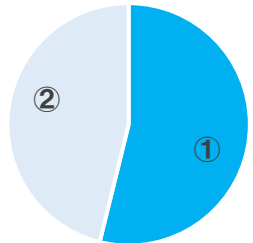
時 間	内 容	講 師 等
13:00～	受 付	
13:30～	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
13:40～ 14:25	企業の社会貢献活動の事例報告 エピソード(市内の中小企業を中心に)	一般社団法人九州防災パートナーズ 代表理事 藤 澤 健 児
14:25～ 15:00	日頃から顔が見え、助け合える関係 ～地域との関係づくりや他団体との連携、 企業の資源を生かした地域貢献など～	
15:00～ 15:10	休 憩	
15:10～ 15:50	グループワーク (ZOOM・ブレイクアウトルーム) 自社でできることを検討し、 他企業とも共有する	
～16:00	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研修日数	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					
	23人 18・5	19人 82.6%	19人	—才		延1日	延3時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体について 満足できたか?	①	②	③	④	⑤
			非常に有意義だ	どちらかと言うと有意義だ	どちらとも言えない	あまり参考にならない	全く参考にならない
	13件 68.4%	7 53.8%	6 46.2%	0 0%	0 0%	0 0%	



主な意見	■ 各企業の社会貢献活動の取り組み方を知ることが出来た。
	■ 普段から関係がないといざという時に連携が取れないと思うので、情報提供しあったり、共有事項を増やしておくことが大事だと感じました。
	■ やはりなかなか普段考えるテーマではないだけに新鮮で、グループワークのおかげで結構真剣に考えることができました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ Zoomでのオンラインセミナーを実施した。事前に接続テストを行い、参加要領と操作説明を行った為、研修当日のトラブル回避につながった。
	■ グループワークは3チーム作成し、それぞれ職員をファシリテーターとして配置したが、活発な討議が行われ、「業種・業態が様々だが、自社以外の方がどのようなことをされているのか参考になった」などの声も聞かれた。
	■ それぞれの立場で社会貢献に関する意見が聞かれ、とても有意義な研修だった

■ 研修風景

参加者		講義① 企業の社会貢献活動の事例報告	
講義② 日頃から顔が見え、助け合える関係		九州防災パートナーズ 藤澤 健児 氏	

令和3年度 社会福祉法人の社会貢献活動セミナー 実施要領

これからの社会福祉法人に求められる地域貢献のあり方について
 ～新しい時代、地域共生社会をめざして～

- 1 目的** 社会福祉制度創設以来、我が国の社会福祉事業において、大きな役割を担ってきた社会福祉法人は、平成28年の社会福祉法改正において規定された「地域における公益的な取組」により、各法人の機能を活かした地域社会への貢献を強く期待されています。
- 本市では、令和元年に各種別の社会福祉施設協議会と北九州市社会福祉協議会が相互協力協定を締結し、地域の様々な生活課題や福祉ニーズへの対応を行っているところです。
- 今回のセミナーでは、社会福祉法人が、社会貢献活動に取組み、地域の様々な課題を解決するにあたって、地域住民・団体との連携や、それぞれの強みを生かした役割遂行、さらに、地域共生社会の構築に向けて、事例を通し考察を深めることを目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 対象者** 社会福祉法人の代表者・実務担当者・協力団体など
 (Zoomを使ってオンライン受講できる方)
- 4 形式** Zoomを使用したオンラインセミナー(事前申込制)
- 5 受講料** 無料
- 6 日程・内容** 令和4年3月17日(木)

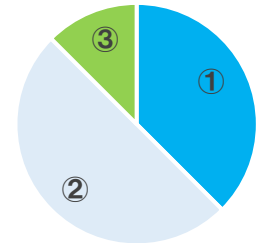
時間	内容	講師等
13:00～	受付	
13:30～	開会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
13:35～ 13:50	講義 今、なぜ社会福祉法人の社会貢献活動が地域に強く求められているのか	北九州市社会福祉ボランティア大学校 校長 久塚 純一
13:50～ 14:30	事例発表① 事例発表②	①社会福祉法人 鷹羽会 軽費老人ホーム 階寿園 生活相談員 久部 啓晃 ②社会福祉法人 北九州市手をつなぐ育成会 インクル八千代 事業所長 石原 智 (副所長 清水 亮介)
～14:40	休憩	
14:40～ 15:25	事例発表を踏まえての コーディネーション	北九州市社会福祉ボランティア大学校 校長 久塚 純一
～15:30	閉会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	11 人 18・5	14 人 82.6 %	14 人	— 才		1 日	3 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			非常に 有意義だ	どちらか と言うと 有意義だ	どちらとも 言えない	あまり参考 にならない	全く参考 にならない
	8 件 68.4 %	満足 できたか?	3 37.5 %	4 50.0 %	1 12.5 %	0 0 %	0 0 %



主な意見	■ 他事業所の活動を知る機会となった。
	■ これからの社会貢献活動のヒントとなりました。
	■ 発表からの少し踏み込んだお話がきけて有意義でした。
	■ 事例発表あり、とても分かりやすい研修でした。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ Zoomでのオンラインセミナーを実施した。事前の接続テストの参加者はいなかったが、研修当日は特にトラブルもなくスムーズに行えた。
	■ 事例発表の後、Zoom受講者に質問を促したが、意見はでなかった。しかし、うなずきながら、メモを取りながら参加している方が多かった。
	■ 事前に手元資料をPDFで送付し、必要者は各自出力できるようにした。
	■ それぞれの立場で社会貢献に関する意見が聞かれ、とても有意義な研修だった

■ 研修風景

軽費老人ホーム 久部 啓昇 氏 階寿園		インクル八千代 清水 亮介 氏	
オンライン研修		事例発表を踏まえての コーディネーション	

令和3年度 ボランティアコーディネート研修 実施要領

ボランティアとのかかわり方を学ぼう!!

～ いま求められるボランティアコーディネーションとは ～

- 1 目的** 社会福祉施設や市民センター・校(地)区社協等でボランティア受入担当者(ボランティアコーディネーター等)を対象に、施設利用者、ボランティア、担当者それぞれにとってプラスになるようなコーディネーションとは何かを学びます。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 研修形式** Zoomを使用したオンラインセミナー
- 4 対象者** 社会福祉施設や病院、市民センター、校(地)区社協活動等において、ボランティアコーディネーション(ボランティア受入等)を担う方【定員30名】(Zoomを使ってオンライン受講できる方)
- 5 受講料** 700円(研修終了後に郵送にてお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。)
- 6 日程・内容**

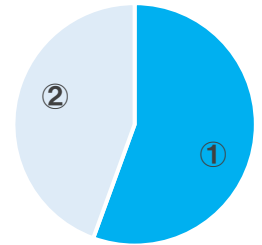
日時		内容	講師
8月20日 (金)	12:30	受付	
	13:00	開会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
	13:10 ～ 13:30	事業紹介 「ボランティア活動について」	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 活動推進課
	13:30 ～ 14:20	講義 「ボランティアコーディネートとは」	
	14:20	休憩	
	14:30 ～ 15:20	講義・ワーク 「ボランティア受入れの コーディネーションについて 考える」	医療法人 共和会 介護老人保健施設「伸寿苑」 老健部・連携広報部 部長 井上 崇
	15:30	閉会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	9 人 4・5	9 人 100%	9 人	41.2 才		1 日	2.5 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	9 件 100.0%		5 55.6%	4 44.4%	0 0%	0 0%	0 0%



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ ボランティアを受け入れるにあたって、何が大切なことかよく理解できた。 ■ ボランティアコーディネーターの意義と役割について理解することができた。 ■ 実際の活動を写真で見たり、事例の紹介もあり、大変参考になった。 ■ 経験談や失敗談を交えた講義を拝聴して、受入の手順やポイントが理解できた。
------	--

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 福岡県緊急事態宣言の発令のため、オンラインセミナーに変更して開催した。 ■ ZOOMでの開催となったが、パワーポイントを使用して、写真を見ながらボランティア受入についての具体的な事例を交えた講義となり、施設の方の声が聞けたという点が有意義であったと、好評だった。 ■ 内容が分かりやすく、コーディネーションに直結する内容になったのではないと思う。
--------------------	---

■ 研修風景

講義風景①		講義風景②	
講義風景③		講義風景④	

令和3年度 ボランティアコーディネート研修 実施要領

つなげようボランティア！

～with コロナ時代のボランティア活動について～

- 1 目的** 社会福祉施設や市民センター・校(地)区社協等のボランティア受入・調整担当者(ボランティアコーディネーター等)を対象にボランティアコーディネートの基本を確認するとともに、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、ボランティア活動の受入を再開した施設の事例を交え、受け入れやボランティア活動者の工夫などを共有し、コーディネートに活かします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** ウェルとばた 12H・I 研修室(戸畑区汐井町 1-6)
※駐車場は限りがございます。公共交通機関をご利用ください。
- 4 対象者** 社会福祉施設や病院、市民センター、校(地)区社協活動等において、ボランティアコーディネーション(ボランティア受入等)を担う方【定員 30 名】
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料** 700 円(研修日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。)
- 6 日程・内容**

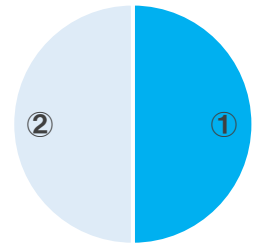
日時	内容	講師	
令和4年 2月18日 (金)	13:00	受付	
	13:30	開会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
	13:30 ～ 14:10	事業紹介 「ボランティアコーディネートの基本について」	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 活動推進課 課長 茅切 敦美
	～ 14:15	休憩	
	14:15 ～ 15:15	事例発表 1 事例発表 2	小倉新栄会 しんえいデイサービス 管理者 安田 広樹 特別養護老人ホーム すみれそう 施設長 榎並 久人
	15:15 ～ 15:25	まとめ	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 研修課 主事 立野 亜佐子
	15:30	閉会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	9人 1・8	8人 88%	8人	51才		1日	2時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	どちらかと言 うと不満足だった	不満足だった
	8件 100.0%	満足 できたか?	4 50%	4 50%	0 0%	0 0%	0 0%



主な意見	■ ボランティアへの理解を深めることが出来ました。介護支援ボランティアと地域の繋がりが大事だと知りました。
	■ ボランティアを受け入れる意味について再考できた。
	■ 繋ぐ人がいてこそ双方が生きると思います。重要で必要だと思います。
	■ スタッフさんへの教育がしっかりなされている所が、とても良いと思った。 ボランティアさんへの関わり方として参考にさせていただきます。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ コロナ禍の中で実際にボランティア受け入れに取り組んでいる施設の方々に事例発表をして頂いた。スタッフへの教育やボランティア受け入れの難しさ、施設内での取り組みなどが聞け、受講者は大変勉強になったようである。このような非常事態の中ではあるが、リアルな研修がやはり伝わりやすいと思う
--------------------	--

■ 研修風景

事業紹介		事例発表	
事例発表		講義風景	

社会福祉法人 北九州市社会福祉協議会
ボランティア・市民活動センター研修課
(北九州市社会福祉ボランティア大学校)

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1番6号 ウェルとばた3階

TEL 093(881)6321

FAX 093(881)6306

ホームページ <http://www.kitac-shakyo.or.jp/index.php?ld=830>